京城日報
二十八日夕刊
（朝刊夕刊を併せて八頁）
發行所 京城太平通一丁目 京城日報社
印刷人 小川三之介

總督訓令

各道長官學校長に對し

朝鮮人教育に從事する内地人にして朝鮮語に通せざれば生徒の個性を知悉し之に對し適切なる教育方法を講じ部下教員の言行を審にして學校訓育の根柢を固うするに於て遺憾少なからざるのみならず父兄姉妹に接し其の意向を察し心情を明にし以て學校と家庭との連絡を圖り徹底せる教育を施し更に進んで鄕黨を指導誘掖して社會教化の實を擧ぐるに於て隔靴搔痒の憾あるを免れず此を以て夙に朝鮮語の學習を奬勵し尚機に臨み時に應じて屢研鑽攻究を促し來りたるも未だ其の成績の顯著なるものあるを見ざるは甚だ遺憾とする所なり因て大正九年一月一日より左記内地人教員朝鮮語試驗規則に依り朝鮮人教育に從事する内地人教員に對し朝鮮語の試驗を行ひ以て其の學習成績を考査し之を考科の參考とし益々之が學習を奬勵せむとす道長官、官立學校長は宜しく此の方針を體し部下教員を督勵して朝鮮語の學習に努めしめ以て所期の目的を達成せむことを期すべし

敵艇攻撃成効

我艦隊某地點にて

海軍省公表＝我驅逐隊の一部は運送船隊を護送して航行中六月二十一日某地點にて我に向つて進み來る魚形水雷に依りて敵を認め二隻の驅逐艦は直に之れを攻撃し尚附近を搜索して更に他の一敵潛水艇を發見し之れをも攻撃したるが此の兩回の攻撃は共に成功せるものと認む（東京特電）

伊軍陣地占領

モンテロ、ゼンソン間

墺軍は二十四日午後全くモンテロを撤退し一部は橋梁に依り一部は徒渉してピアヴェ河を渡りたるが伊軍は直に追撃に移り大砲七十二門を奪回せり尚伊軍はモンテロ、ゼンソン間に亘り其全距離の陣地を占領し全線に亙り騎兵を前進せしめつゝあり今日迄伊軍は十二箇の墺軍砲列を鹵獲したりと（倫敦電報）

墺軍危殆に瀕す

墺國皇太子軍其他は今や總退却の途にあるが何れも危殆に瀕せり（倫敦電報）

出兵は唯日本あるのみ

英國首相ロイド、ジョージ氏は下院に於て演説して曰く今日露國に出兵し得るは唯日本あるのみされど問題は如何にして兵を進むるかにあり（倫敦電報）

獨軍高架索占領か

五隻の獨戰鬪艦は高架索ポチー港に三千名の軍隊を上陸せしめたり之れ高架索占領の爲めなりと信ぜらる（倫敦電報）

在露獨軍移動命令

獨帝は露國内に在る全獨軍を佛蘭西戰線に移すべき命令を發せり（倫敦電報）

露國廢帝殺害説

過激派はエカテリンブルグに於て前露國皇帝を殺害せりとの説あり（倫敦電報）

鮑督軍の訓令

鮮人復興會嚴重取締

鮑黑龍省督軍は管内各道尹に對し最近奉天に出現せし鮮人復興會なる不良分子の害毒は延いて當方面鮮人團に蔓延の虞れあり今や日支國交上諸種の障害事件を釀さんとする際なれば之等の行爲に關しては嚴重防止に努む可しとの訓令を發せり（長春特電）

岩崎男通過

岩崎小彌太男、武田秀雄（海軍機關中將）、三宅川百太郎（三菱門司支店長兼若松支店長兼船舶部長）氏等一行五名廿八日朝著釜直に京城に向へり（釜山特電）

宇佐美長官通過

宇佐美内務部長官は廿八日朝著釜直に京城に向へり（釜山特電）

東亞通商社長北行

東亞通商株式會社長高木陸郎氏は二十八日朝著釜直に北行（釜山特電）

政務總監弔電

山縣政務總監は久邇宮俔子女王殿下薨去被遊たるに就き廿八日午前九時三十分在京都同宮附事務官に宛て弔電を發し言上方を乞へり

總監部長招待

山縣政務總監は二十九日午後七時より會議の爲め入京中なる各道第二部長を朝鮮ホテルに招待し晩餐會を開く筈なるが本府よりは宇佐美、鈴木、小原各長官、高橋少將、荻田局長、水口、平井各課長其他關係職員出席すべし

改正令施行 發布

▲煙草稅令 煙草稅令中改正の件は二十九日附を以て公布八月一日より施行さるべし

▲地稅及被服規程 地稅令改正施行に關する件及び朝鮮總督府並に所屬官署船舶乘組員被服貸與規程中改正の件は何れも二十九日附を以て發布のこと、なれり

▲水難救護令 水難救護令中改正の件は二十九日附を以て公布七月一日より施行さるべし

鮮人文官給與

改正の內容

朝鮮人文官の給與に關する件中改正の件は二十二日附勅令第二百五十九號を以て公布即日施行されたるが右に依れば第一條を削除し第二條但書中『七十五圓』を九十圓に改め『第五條の四十圓は三十圓』とあるを削除し判任文官月俸表を一級より八級迄を一級より十一級迄として十一級十五圓一級七十圓とし内地人官吏の受くる特典を朝鮮人官吏にも及ぼし一級俸に於て四割の增給となれり

二部長會議（第二日）

第二部長會議第二日は二十八日午前九時より總督府第二會議室に於て開會直に日程に入り午前中は理財に關する指示あり午後理財に關する打合せを爲し同四時散會せり

定例長官會議

二十八日午前十時より總督府第一會議室に於て定例長官會議開會政務總監以下各部長官出席一般政務に就き審議する處ありたり

所謂營林廠事件（三）

山縣生

『朝鮮營林廠事件の眞相』數萬言、之を煎じ詰むれば齋藤前廠長に對する批難である。故に其批難の當れるや否やを吟味すれば眞相如何が判明する譯であるが、『眞相』記者が新義州方面に於て聞いた所の同氏に對する批難の要點なりとて掲ぐる所は『齋藤氏は極端なる基督信者にして、クリスチャンにあらざれば、人に非ずとなし自尊心自信力強く、自己の主義に反する者は極力排斥し、迎合する者を過信し、少數の御用商人を庇護して莫大の利益を與へ、多數の材木商を冷遇し、謂はゞ木材製造販賣者たる營林廠長の職責上依估偏頗の不公平なる處置が甚だ多かつた。彼が一二の御用商人に過大なる利益を與へた裏面には必ず何等かの賄賂請托の不正事實が伏在して居るであらう』云々である

先づ齋藤氏の基督信者として『眞相』記者の謂ふが如き偏狹なる人なるや否やを吟味せんに、氏の敬虔なる信者なるは周知の事なるも、余が新義州方面に於ける智識階級につきて聞ける所に據れば、氏は決して偏狹頑固の態度を示さなかつたやうである。氏は自ら其主義を守るに嚴なりしも、他に之を強ゆる事はなく、禁酒禁煙を部下に強ひ、又基督教歸依を勸めた等と謂ふは根據なき臆測である。氏は却て此邊に細心の注意を拂ひ宴會の如きは努めて出席して、自ら杯を取るを避けたれど、他の酒を樂むを咎むる事はなかつたさうである。

一例を擧ぐれば製材所の鋸工に田中なる者あり、天才肌の男で當人の及び難き手腕を有し、其爲めに製材所の生産品は價値を加へたるに天才の常として素行甚だ修らざりしも、齋藤氏は其伎倆を惜み敢て毫も其私行を咎めず、平生目をかけて使ふた。彼も亦意氣に感じて齋藤氏の在職中は高給に誘はれしもこれに耳を傾けず、忠實に勤めたが、氏の退職と共に他の工場へ去つたといふ事である。

齋藤氏が偏狹の基督信者ならざるは右の例を見ても察すべしであるが、基督教の信仰を他に強ゆるが如きは氏が主義に於て最も反對する所で、信者を庇護し、然らざる者を排斥したるが爲めに不平の徒は憤慨の餘り、續々辭職したと謂ふは全然無根の說である。今川技師が去年三月辭職して南洋（南米に非ず）に去つたのは事實であるが、氏は齋藤氏の親友であり、新義州教會を創立し、其柱石たりし人である。氏は南洋に於て殖産會社を起し、盛に護謨の栽培事業を經營して居るが、氏の辭職したのは多年の宿望たる此計畫を行はんが爲めであつた。又古屋中江鎭支廠長も辭職したりと謂へど、事實は然らずして現に在職中である。其他二三者の退官につきてはそれ〲異なれる事情あれど、取立て記述する必要はあるまい。之を要するに齋藤氏と主義信仰を同うせざる人々が不平憤慨の餘り、續々辭職したといふは全く誤報である。

醫師藥劑師試驗

醫師試驗施行の件は二十九日附を以て告示さるゝこととなりたるが右は來る十月一日より京城醫學專門學校内に於て施行さるべく試驗を受けむとする者は九月十日迄に願書附屬書類及び寫眞を警務總監部に提出す可しと尚今回の試驗は特に朝鮮文朝鮮語を以て受くることを得と又藥劑師試驗施行の件は同じく二十九日附を以て告示さる可く右は十月十日より京城醫學專門學校に於て施行せられ受驗者は九月三十日迄に願書附屬書類及寫眞を警務總監に提出すべしと

地方金融組合令改正

二十七日制令を以て發布（承前）

第七十一條 第五十條の二及第五十條の三の規定は金融組合の合併の場合に之を準用す

第七十二條 削除

第七十六條 解散したる金融組合債務を完濟し殘餘の財産あるときは定款の定むる所に依り之を處分するものとす

第八十九條の二 出資一口の金額減少の登記の申請書には其事實を證する書面の外第五十條の二第二項の規定に依り催告を爲したること若し異議を述べたる債權者あるときは之に對し辨濟を爲し又は擔保を供したることを證する書面を添付すべし

第九十條 組合解散の登記の申請書には解散の事由を記載し且總會の決議又は合併に因りて解散したるときは總會の決議錄を添附すべし

前條の規定は合併に因る解散の登記の申請に之を準用す

第九章の二 金融組合聯合會

第九十三條の二 金融組合聯合會は左の目的を以て道の區域に依り金融組合を以て之を設立することを得

一 所屬組合に必要なる資金を貸付すること

二 所屬組合より預り金を爲す事

三 所屬組合に對し業務上の指導を爲すこと

四 所屬組合相互の聯絡及業務の便宜を圖ること

金融組合聯合會は金融組合の外朝鮮總督の指定したる産業に關する法人を加入せしむることを得

第九十三條の三 金融組合聯合會は社團法人とす

第九十三條の四 出資一口の金額は五百圓とす

第九十三條の五 金融組合聯合會に理事長一人理事一人監事二人以上を置く

理事長及び理事は朝鮮總督之を任免す

監事は所屬の金融組合及び第九十三條の二第二項の法人の役員中より總會に於て之を選任す

監事の任期は二年とす但し任期中の最終の決算期に關する定時總會の終結に至る迄其の任期を伸長することを得

第九十三條の六 理事長は金融組合聯合會を代表し其の業務を執行す

理事は理事長を補佐し理事長事故あるときは其の職務を代理す

第九十三條の七 金融組合又は第九十三條の二第二項の法人が金融組合聯合會に加入し又は脫退せんとするときは總會の決議を經ることを要す

第九十三條の八 金融組合聯合會は所屬の金融組合又は第九十三條の二第二項の法人の業務及び財産の狀況を調査することを得

第九十三條の九 登記所に金融組合聯合會登記簿を備ふ

第九十三條の十 第三條、第四條、第八條乃至第十四條、第十六條、第十八條乃至第三十條、第三十二條、第三十四條、第三十七條、第三十九條乃至第五十條、第五十一條乃至第五十六條、第五十七條第二項、第五十八條、第五十九條、第六十一條乃至第六十七條、第七十五條乃至第八十六條、第八十八條、第八十九條、第九十條第一項及第九十一條乃至第九十三條の規定は金融組合聯合會に之を準用す但し第四十七條、第五十五條、第五十六條及び第七十五條中組合長及び理事とあるは理事長とす

第九十五條 左の場合に於ては金融組合の組合長、理事、監事若は清算人又は金融組合聯合會の理事長、理事、監事若は清算人を五圓以上五百圓以下の過料に處す

一、監督官廳の認可を受くべき場合に於て其の認可を受けざるとき

二、登記を爲すことを怠り又は不正の登記を爲したるとき

三、官廳又は總會に對し不實の申述を爲し又は事實を隱蔽したるとき

四、第九條乃至第十一條、第十八條、第二十一條第二項、第二十九條、第三十九條、第五十條の二、第五十條の三第二項、第五十二條、第五十三條、第七十一條又は第七十五條第二項の規定に違反したるとき

五、第四十六條第一項若は第四十九條第一項の規定に違反したるとき又は第四十六條第一項若は第四十九條第一項に掲げたる書類に記載すべき事項を記載せず不正の記載を爲し若は正當の理由なくして之を閲覽せしめざるとき

六、第四十七條、第六十五條又は第八十四條第二項に規定する報告を爲さず又は書類を提出せざるとき

七、公告を爲すことを怠り又は不正の公告を爲したるとき

八、清算の場合に於て第八十一條乃至第八十三條民法第七十九條若は第八十一條第一項の規定に違反し又は債權申出期間滿了前に債權者に對し辨濟を爲したるとき

九、監督官廳の檢查を拒み又は之を妨げ若は監督官吏の訊問に對し答辯を爲さず若は虛僞の陳述を爲したるとき

十、監督官廳の處分に從はざるとき

附則

本令施行期日は朝鮮總督之を定む

從前の規定に依る地方金融組合登記簿は本令に依る金融組合登記簿と看做し其の登記は本令に依り金融組合登記簿中地方金融組合とあるは金融組合と變更せられたるものと看做す（完）

鮮語奬勵と試驗規則

内鮮同化の實蹟を擧げんと欲せば内地人が率先朝鮮語を學び朝鮮人と其の利害得失を同うし朝鮮人をして同じく國語を學ぶの必要を認めしめ意思の疏通を圖るの緊要事たるは言ふ迄もなし從來朝鮮人の教育に任せる內地人教員は朝鮮語を解せざるも教員たり得たるが斯くては學校と家庭の聯絡鄕黨の誘掖等に徹底的なるを得ざる憾あり三等普通學校教員に朝鮮語學習を奬勵し將來學校長たるには朝鮮語を必要とするに至る可く二十八日長谷川總督は別項の如く各道長官々立諸學校長に對し朝鮮語奬勵の訓令を發すると共に內地人教員にして朝鮮人教育に從事する者の朝鮮語學習の成績を考査する爲め內地人教員朝鮮語試驗規則（別項）を發布し大正九年一月一日より之を施行する事となれり

内地人教員朝鮮語試驗規則

第一條 内地人にして朝鮮人教育に從事する教員の朝鮮語學習の成績を考査する爲本規則に依り朝鮮語の試驗を行ふ

第二條 朝鮮語の試驗を分ちて第一次試驗及び第二次試驗とす

第一次試驗に合格したる者に非ざれば第二次試驗を受くることを得ず

第三條 試驗は內地人教員朝鮮語試驗委員之を行ふ

試驗委員會に委員長一人を置き試驗に關する事務を掌理せしむ

委員長及び委員は朝鮮總督府及所屬官署の官吏中より之を命ず

第四條 試驗は每年十二月之を行ふ但し必要ある場合には臨時之を行ふことあるべし

試驗の期日及び場所は朝鮮總督府官報を以て之を公告す

第五條 試驗を受けむとする者は試驗委員長に屆出づべし但し朝鮮官公立學校に現に在職せざる者は履歷書を添附することを要す

第六條 試驗の科目は第一次試驗に在りては會話、翻譯、書取、第二次試驗に在りては會話、翻譯、作文及書取、讀方とし其の程度は凡そ左の如し

第一次試驗

一 會話 近易の日用會話

二 翻譯 近易の口語鮮文の國譯 近易の口語國文の鮮譯

三 書取 近易の口語文

第二次試驗

一 會話 普通の日用會話

二 翻譯 普通の鮮文國譯及國文鮮譯

三 作文及書取 普通の口語又は文語文

四 讀方 普通の漢字諺文混淆文又は四書諺解の類

第七條 五年以上朝鮮人教育に從事し朝鮮語に熟達せる者にして道長官の推擧したる者は試驗委員の銓衡を經て前條の第一次及第二次試驗に合格したるものと認むることあるべし

第八條 試驗に合格したる者及前條に依り認定したる者には證明書を附與す

試驗に合格したる者及前條に依り認定したる者の氏名は朝鮮總督府官報を以て之を公告す

金融組合令改正に就て（二）

鈴木度支部長官談

▲管理 從來の金融組合に於ては朝鮮總督の命じたる理事業務を執行したりしも漸次組合の實質を完備せしむるの必要あるを以て一般組合長の業務執行權を認め特殊の組合に限り朝鮮總督の任命せる理事をして業務を執行せしめむとす

▲金融組合聯合會 金融組合聯合會は今回の改正に依り新に認められたる機關にして一道を區域とし其の區域內の金融組合及産業に關する法人を以て組織し所屬組合に資金を貸付し預り金を爲し且業務上の指導を爲す外所屬組合相互の聯絡及業務上の便宜を圖るを目的とし朝鮮總督の任命する理事長及び理事をして業務を執行せしめ所屬組合の出資金以外政府より貸附する資金を以て運轉資金に充て低利を以て所屬組合に融通せしめむとす

以上は金融組合令中改正の大要なりとす而して漸次農村に於ける組合を增設し都市金融組合及び聯合會の設立を實行し以て下層金融機關の充實を期せむとす其の設置見込は左の如し

▲都市金融組合 府其の他市街地稅施行地には都市組合の設立を許可する方針にして地方篤志家の發企に俟つものとす政府は其の設立に對し農村組合の如く基本金を交付せざるも金融組合聯合會又は朝鮮殖産銀行より相當資金の援助を爲さしむる見込なり

▲農村金融組合 市街地以外に於て年額取引高一萬圓以上の市場附近を中心として農村組合を普及せしむる見込にして政府より二千乃至五千圓の基本金を交付し聯合會及び朝鮮殖産銀行より必要に應じ低利の運轉資金を貸與し業務を經營せしむ其の業務は從來の地方金融組合と異る事なきも可成信用組合程度の預り金及び貸付業務のみを營ましめむとす而して大正七年度以降每年四五十個所宛五箇年乃至六箇年間に既設組合を合せて約六百箇所を設立する見込なりとす

▲金融組合聯合會 一道一箇所宛全道に十三箇所を本年度に於て設立する計畫にして主として所屬組合相互の連絡を圖り其の資金を操縱し且業務上の指導を爲さしむ而して聯合會の經費は政府の無利子貸下金を所屬組合に低利を以て貸付け其の運用上の利益金を以て之に充當す聯合會に對する本年度政府の貸下金は總計六十五萬圓にして尚明年度以降五年間に總計三百萬圓の貸與を爲す見込にして所屬組合は此の低利資金の供給に依り充分の活躍を見ることを得んか（完）

三代議士退京

磯部、[illegible]口、井戸三代議士一行は二十八日午前八時四十分南大門驛發内地に向へり

大田理事入京

鮮銀理事滿洲總支配人大田三郎氏は二十八日午前八時南大門驛著列車にて入京したり

人事消息

▲水谷千萬吉氏（平壤鑛業所長） 廿八日[illegible]京浦項へ

▲村地卓爾氏（元山府尹） 同上

▲柳野實氏（三菱鐵業所兼二浦出張所長） 廿八日朝入京天眞樓へ

▲フレンチ氏（英國救世軍大佐） 廿七日[illegible]開城より歸京

▲マクマリ氏（米國大使館附武官） 廿七日[illegible]京より哈爾賓へ

▲王順定氏（支那交涉部員） 廿七日夜[illegible]

茶前酒後

○連戰連敗の墺軍は最早損害十九萬に達す伊墺大戰も一先づ終局[illegible]

○墺國第二の露たらんとす伊國[illegible]躍落に對せし獨逸の如き勇氣[illegible]

○鈴張督戰前獨の支那に發展し[illegible]ざりしは一に政府の無能也と[illegible]

○又曰將來の支那は世界の大市[illegible]也此意味に於て青島は棄べから[illegible]

○戰後の獨は青島を根據とし[illegible]を略し中支一帶の物貨を吸收[illegible]

○貝加爾湖畔より恰克圖鐵道に[illegible]り北京を經青島は歐亞接續の[illegible]

○更に印度を經長江に達する[illegible]成らば青島の繁榮は世界的也[illegible]

○其の抱負の大なる聊か夢の[illegible]も其の豪氣は可賞諸君以て[illegible]

○無制限出兵堅明の米國昨今[illegible]不足にて大困却募兵係は首を[illegible]

○政府は頻に戰爭熱を煽れど[illegible]急に功力無流石は世界一の[illegible]

○日本の飛行機は途に如何にな[illegible]かとは堀澤男耳の噂ならん[illegible]

○墜落は我獨得の放術の如き[illegible]るより後援者も力拔けして不[illegible]

○飛機十萬獨空に要撃せんとは[illegible]に光の豪語に止らず事實と成[illegible]

○航空界の勇者は迫ても[illegible]飛行でも敢行し其腕前を見[illegible]

○寺垣澤中將を中心とする[illegible]常用資行側なる者現れ麥食を[illegible]

○門標に會員たるを示し苟も[illegible]者には麥飯を強食せしむと米[illegible]

○次には玄米黨や雜食黨も勃[illegible]不食黨も起らん救世軍か救米[illegible]

十一月一日現行

◆久邇珖子女王殿下

兄宮殿下御葬儀の日薨去

久邇宮多嘉王殿下第一王子賀彦王殿下薨去の事あり御悼はしき御葬送の廿七日またも御妹姫宮珖子女王殿下(大正二年十二月五日御誕生)には急性腎臓炎に尿毒症御併發あり遂に薨去あらせられたり久邇宮家にては累なる御不幸の哀愁に滿ちさせ給ふ(京都特電)

●病因の判らぬ脚氣

そろ〳〵其の季節が來た 青い魚――でもない――白米?

そろ〳〵脚氣の季節が來たがこの病氣の原因は未だに判明してゐない昔は青い魚――鯖だとか鯵だとか云ふ魚を食べると脚氣になると云てゐたが今日に於ては之は全然

▽根據のない 説だと云ふ事が分つた、白米を喰ふと罹ると云ふ説が大分有力で軍隊などで玄米を精白するので精分が減る爲めであると云ふので、白米病と云ふ病氣はあるが併しそれと

▽脚氣とは違 つてゐる白米ばかりを喰ふ爲め脚氣に罹るものとは思はれない只脚氣になつて了つたら米飯の代りに麥飯を食ふ位にしたら好いと思ふ、又脚氣は一種の傳染病だと云ふ説もあるそれは年によつて多い時と少い時とがあるからで昨年の如きは

▽非常に尠く 一昨年は非常に多かつたと云ふ樣な所から見ると一種の傳染病だと云ふ説は至當らしく聞ゆるが併し確かに然うだとは斷言は出來ぬ、それで現今の處と重きをなしてゐる説は恐らく何等かの

▽營養不足の 爲に起るのであらうと云ふ事である、斯樣に原因がまだ判明してゐない、併し今迄に惡いと云はれてゐる事には先づ近寄らない方が無事で精白米などは遠慮しても好い、但し魚などは無論別である、其他には

▽消化の好い 成るべく多種類の食物を攝る事それから便通を極めて好くする事で便通は下痢しない程度までに付けて好い、住居は又濕氣のない家を選ばなければならない、詰り一口に言へば規則正しい生活をするのが好いのである(某醫官談)

●防疫注意書 を配布す――

京城本町警察署管内にては相變らずパラチブス流行の傾向あるより同署にては専ら防疫中なるが二十七日管内の旅館料理屋飲食店貸座敷業者に左の如く營業上傳染病豫防に關する注意書を配布せり

一、客に提供する飲食物は能く煮沸せるものを用ひ刺身膾等は可成提供せざること

二、調理に使用する組板庖丁等に蠅其他昆蟲類を附着せざる樣防蠅設備をなすること

三、此際洗滌したる蔬菜類は病菌附着の危險あるに付買求め使用せざること

四、客に提供する飲食物は最も注意を拂ひ苟も腐敗變敗に傾き若くは疑あるものを使用せざるは勿論果物類は煮沸水を以て洗滌すること

五、飲食物は完全なる防蠅櫃に納め客に提供する飲食器具の洗滌及び取扱に注意し膳部には清潔なる布片又は蠅不入器を以て掩ひ蠅の附着せざる樣注意すること

六、便所の清潔及び消毒を勵行し又蠅の絶對に出入せざる樣措置すること

七、便所用の手拭は清潔なるものを用ひ適宜の方法に依り使用者毎に取換ゆること

八、客用の寢具其他の日光消毒を勵行すること

九、客にして病氣に罹り傳染病の疑あるときは躊躇なく警察署又は最寄の警察官派出所に屆出づること

十、使用人に以上の各項を訓示し遵守勵行を期すること

♣花菖蒲水郷に雨意充つ日なり(二十八日新龍山彩花園にて)

●大連埠頭の怪火

――廿七日白晝第八回の發火 化學的發火劑を用ふる放火か

民政署員二百の不眠不休の警戒中を……

問題重大 火災保險愈々契約を爲さず

近頃の怪火として喧傳せらるゝ滿鐵大連埠頭火災は二十七日第八回の出火あり東野積第九區積置き大豆八車燒失し右の損害約六百圓なり滿鐵埠頭は大連民政署より晝夜二百餘名不眠不休にて警戒しつゝあるに拘らず八回目火災の如きは午前十時半頃の發火なり右は化學的の發火劑を用ひて放火するに非ずやとの疑あり火災保險は出火頻發に鑑み愈々埠頭大豆に對する契約を爲さず大連經濟界に至大なる影響あると共に右火災問題愈々重大となれり(大連特電)

▽今後も發火すれば大變である 二十八日朝入京した大田鮮銀滿洲總支配人は語る

此頃大連で皆不思議がり銀行も商人も大に困り大に騷いでゐるのは埠頭に堆高く積まれた大豆や豆粕から頻りに火の出る事だ、恰度既に七回の怪火を見その燒けた高は前後合せると彼是れ

◆百萬圓 に上るらしい、大豆や豆粕の事だから自然發火ではあるまい、自然發火なら既往にも其の實例があらうと思はれるのであるが、然るにその事なしとすればどうも放火らしい、滿鐵の埠頭事務所や民政署の警務當局は血眼で犯人の檢擧や火災の防衛に努力してゐるが廿六日の夜予が大連を出發する迄は皆目分らないやうであつた

◆滯貨は 何十萬噸あるか何しろ埠頭から日本橋まで延びてゐるのであつて今後もまだ〳〵火を發する事となつたら大變である、又放火として何故の放火であるか犯人が捉まらぬ以上さつぱり分らぬ、餘り頻々と火を發するので保險會社では貨物

◆保險を 拒まうと云ふ模樣さへある、然しまだ拒んだ實例はないやうだ

●支那商を襲ふ

二十一日午前八時四十分頃忠北清州市場支那人反物商張謙諒倉庫裏より侵入麻布十六疋價格八十圓を窃取したる三名の曲者あり四州面佳景里松林中に潜伏中を逮捕されたるが右三名中の主謀者は朴黄龍(二九)と云ひ到る處無頼漢を狩り集め惡事を働き已に十筋の指紋對照により注意中の者なりしと

●どうすれば黴が生ぬか

……食物の保存法……

◎追々 暑さに向ふと食物の保存が非常に困難になり、ウツカリしてゐると黴が生ゐる、腐れが過る、折角買つた物が晩には食べられないやうなことが數々あります、何うかしたら食物の完全な貯藏法が出來るかといふと本當を申せば冷藏庫の中へ入れて置くのが第一番ですが、家族の少ない

◎家庭 などではさうも參りませんから、簡單な保存法を書いて見ますと、まづ鰹節の黴を防ぐには酒を塗つて風通しの好い處へ吊して置く、燒いた海苔ならば鑵物又は壷に入れてシツカリと蓋をするに限り、燒かないのはブリキ鑵に入れて置けば申分ありませんが、長火鉢の抽斗へ焙粉又は炭の粉を敷き詰めてその上へ新聞紙を延べ、斯うして

◎保存 して置けば濕ることはありません。茶、珈琲の類はブリキ鑵のまゝ蓋を下にして置くと長く保ちます。使用しないで一年以上も仕舞つて置くにはスツカリ目張をするに限ります、又肉類は鑵詰にさへすれば何んでもありませんが

◎普通 の家ではそんなことは出來ません。手數なことは出來ませんから、さらばといつて冷藏庫に仕舞ふにしても取出したら直ぐ調理せねば腐敗します。其れでは何が好いかと申しますと鹽漬にして好く蓋をし、必要な場合には柿の葉を入れた水で

◎鹽出 しをして用ひると少しも味が變るやうなことはありません。又朝買込んだ肉類を夕食を調理するまでの保存法はなるべく日光の直射しない、風通しのよい場所に置いて鹽を振かけ、若しくは醤油に浸けるのも好いやうですが

◎小皿 に一、二杯も炭の粉を盛つてその中へ入れて置くも腐敗が遲く、味も頗る好くなる相です。

お伽巡禮(十) 群山 涙光生

◇夜はほの〴〵と明け離れ、白い波が朝の風に涼味を増してゐる、午前六時、一番列車で不滿な後に小學校長諸先生、府生支局長、驛長等に見送られて黒烟發して群山に向つた、打里の驛では井田校長が車中に迎へて各生徒の書いた巡禮さんの印象記を贈られた、十二時過ぎ裡里に著、此處で群山の齋藤通信員に迎へられて高村理事さ別れるのであつた◇四時二十分まで汽車を待ち合せて五時五分群山驛に著、井澤小學校長に迎へられて旅舘谷口に入る、相撲の巡業隊が同宿して賑やかなものであつた今日の雷雨に湯上りの肌を涼しい風が吹いて心地よい夜に井澤校長、普通校長が來訪さる、井澤校長の案内で街の大體を見た◇明くれば廿一日、身體の具合が殊に惡い氣分を引立てゝ九時起床したが食事をする氣になれない卵子二三で齋藤通信員と共に府に天野府尹を、警察に渡邊署長を、群日社に高洲社長を訪問して敬意を表し會場たる小學校に到る午前は三年以下の三百五十名と普通校の百五十名と幼稚園の七十名に二席を話し中途氣分遠くなりて聲も出でず腹痛と苦しき事かぎりなし、ヤット濟ませて食事をさせんとするもムカ〳〵して食する事が出來ません此處までやりつけて中止することになつたらと涙が出る◇致方なく〳〵群山病院の厄介になる、重い心を引立てゝ午後一時から小學校の四年以上と女學校等の五百名のために三席を演ず、天野府尹、渡邊署長、朝新、釜日、全北の各記者他有志も來聽せらる、天の助けか巡禮さんの涙の努力に熱誠溢れて好評を博して二時半閉會、校長等に案内せられて丘の公園に昇り眼下に市街さ小丘さ川さをながめて夏の暑熱をさけた涼風に吹かるゝ事しばし、午後六時廿分發にて井澤校長、齋藤氏等に送られて江景裡通過、夜九時前論山に着、車中月を仰いで疲れに病む旅の子を哀れさ思つた、驛には山本東日販賣店主が出迎へて呉れた、田舍びた町を三日月とか云ふ旅舘に入る、蒸し熱い三方壁の小室におしこめられ不徳義な蚤おびたゞしいドロ〳〵の風呂に汗だけ流し、山本氏さ打合せをして床に入れば病人のやうだ

勸業債券 月賦販賣取締(四)

警務總監部保安課 馬場警視談

詰り從來主として行はれつゝある營業號若は二重番號等に依り債券の番號を假裝して營業者の懐より割增金と同額の金員を支出する方法を許さないのであつて內地に於けるが如く普通の

▽貸借關係に 依り借主が割增金當籤の場合其の取得の權利を保留して債券を擔保とするが如きをも禁せむとする者でないのである猶又前記府令第四十九號は射倖方法の提供を原則として禁止し特に警察官署の許可を受けたる場合に於て初めて之を行ふことを得るに止まり之が違反者には

▽處罰規定が あるのであるから內地に於ける前記內務省令第二十號が原則として之を放任し行爲とし特に公安又は風俗を害する虞ありと認めたる場合地方長官が禁止又は制限したる上にあらざれば其の違反者に對して處罰し得ざるとは甚だ趣を異にして居るのである是亦朝鮮に於て此際特に一般的禁止の處分に出でざりし理由である

▽以上に依り 各營業者に對しては今回月賦金全額拂込完了の上債券の所有權を移し且其當籤割增金を購買者に取得せしめざる方法を以てするものゝ外は任意廢止を諭示し之に應せざるものに對しては前記方針を以て其の營業方法を調査し之に觸るゝものは假借なく處罰を加ふる筈であるから結局朝鮮に於ても此種射倖行爲を目的とする販賣業は絶滅に至るべきものと信ずる猶從來既に契約濟のものは各營業者の任意廢止請書と共に詳細なる契約調を屆出しむる事とし且其の契約の完結を許す筈であるから此點に關しては購買者に於ても別段不安の念を抱くの要なき譯である(完)

●大相撲 雨天休場

東京大相撲鳳、千葉ケ嵜一行の二日目なる二十八日は朝の內快晴なりしため開場したるも再び降雨ありしため休場することとなりたるが二十九日は晴天なれば二日目を開場すべし

▲お斷り 本社に愛讀者優待の爲め東京大相撲の京城興行中場代木戸割引券を發行し同券持參者に對しサッポロビールを進呈することゝせるが二十七日は初日早々のことゝて不行屆の點尠なからず從つて充分なる滿足を買ふに至らざりしも二日目よりは一層の注意を拂ひ讀者の辜負に背かざらんことを期す

●彩花園の花菖蒲 龍山生

道公園を拔けて京元線の鐵道線路に出ると線路に沿うて彩花園といふ花屋がある、その花屋の前にある二段歩ばかりの菖蒲畑には海紫と白の菖蒲の花が一面に咲き亂れてゐる、梅雨晴れのよく澄んだ空にどこまでも生き〳〵した自然の色の花菖蒲が美しく咲いてゐるのはいゝものだ、同園ではこゝの花菖蒲の剪り花一莖五錢をサッポロビール愛飲家のために提供することゝなつたが、希望者は最寄の同ビール特約販賣店に申込めば分けて呉れるさうである

●西氏令息の訃

總督府西猛美氏息卓郎氏は郷里福岡にて病氣中なりしが廿七日藥石効なく死去せり

運動界

▽滿鐵再勝す 滿鐵對法制野球の第二回戰は二十七日午後四時より開始同七時半終了し五對六點にて滿鐵の勝に歸せり(大連特電)

▽明大野球團 明治大學野球團は廿八日大連著廿九日より各チイムと競技開始の筈也(大連特電)

▽早大庭球團 早稻田大學庭球團は七月二日大連著の豫定なり(大連特電)

▲昌德宮大造殿の燒跡は昨今漸く排水工事中で燒跡から李王職事務所前にかけて直徑四尺もあらうと云ふ鐵筋混凝土の巨きな排水管を埋めつゝある▲この排水工事が濟むと直ちに基礎工事に取掛り建前に取掛る筈だが燒跡は與が段々高くなつてゐるので彼處に康寧殿のやうな大建築を移すのは新らしく建てるよりも骨が折れると設計者は頭を痛めてゐる▲昌慶苑の駱駝が仔を生んだことは朝刊所報の通りであるが駱駝の仔は矢張駱駝で生れ立ちから背中に鞍があるところは生意氣でもあり面白くもある▲何日本廣しと雖も駱駝の仔は之が始めてゞあらうとは係の人の自慢話し

文藝課題及募集規定

□募集規定 ▲用紙は端書又は同形の用紙一枚毎に雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事▲一等…

商況

東京期米特電

二十八日前場 一節 二節 三節 二十六圓二十四錢

兵庫期米

二十八日前場 寄付 二節 三節 二十五圓八十九錢

大阪株式特電

種類	拂込	前場	後場
宇治川水	五〇、〇〇	―	―
瓦斯電燈	五〇、〇〇	―	―
東洋紡績	五〇、〇〇	[illegible]	―
鐘淵紡績	三〇、〇〇	[illegible]	―
大日本紡績	五〇、〇〇	[illegible]	―
同上新株	四〇、〇〇	[illegible]	―
東洋精糖	二〇、〇〇	―	―
大阪商船	二〇、〇〇	[illegible]	―
日本郵船	五〇、〇〇	[illegible]	―
同上新株	五〇、〇〇	―	―
堂島米穀	五〇、〇〇	[illegible]	―
東京株式	[illegible]	―	―
大阪株式	[illegible]	[illegible]	―

大阪三品特電

前場 [illegible]

大阪期米特電

限月	前場
六月限	三三、五〇〇
七月限	三三、六九〇
八月限	三三、五二五
九月限	三三、三五〇
十月限	三三、三〇〇
十一月限	三三、四〇〇

下關期米特電

二十八日前場 中限寄付 先限寄付 二五、四二 三節 二四、四一

雜報

	前場	中限	先限
寄付	[illegible]	[illegible]	[illegible]
高値	[illegible]	[illegible]	[illegible]
安値	[illegible]	[illegible]	[illegible]
引け	[illegible]	[illegible]	[illegible]

●內地麥市況 小麥 未だ市立の場所少からざれば兹大候の影響は大なる可く今後若し雨天續かば品質は著しく害せられ且つ收穫の減退も亦免かれざるべく從つて市況は强硬の含みにて天候回復を待つの大麥 は弗々ながら新麥出廻れるも尚ほ問題となる程度には至らざるに最近殷分作柄悲觀せられたると古物は品なしの狀態なるより市場は人氣一轉して强硬を示し先物の如きは買人一齊に買進へにて關東本場古物七升二合新物七升七合山本新物八升二合見當の高唱へなるが今後天候回復を見るに至らば或は又軟調を呈するやも知れず

◉麥安 も産地は却つて天候回復に依りては天候案事となり安値より五六十錢高を報ずるの有樣なるも新物出廻り薄の事とて至つて氣乘薄く見送り商狀なり

●北鮮澱粉氣弱 北海産澱粉は阪神市場相變らずの高値にて兹に物十六圓二十錢見當なるが産地は歐洲航路運賃問題の關係其他の軟材に急激八九十錢方の暴落を報ぜり併し漸次北鮮産に移りて今や北海産の移入殆ど中絶の姿なる以は産額の減少と價格の低廉に連れ內需要…

●正米持合ふ 正米は雨天の爲め賣人の出市者なきより內地…

●鐵材漸次强調 洋鐵は一般强硬の裡にも丸鐵は八幡製鐵所の入札以來更に品薄歩調となりしが最近阪神手筋より印度方面へ向けの輸出行はれ之が爲めに自然小鐵の如きも之に伴ひ來れるもの、如く當市相場は前…

●先約物の輸入さへ 困難を唱へらるゝ際にて今後…

●外米産地高 外米の實行は東京大阪は兎も角地方筋は東北方面は非常の好況にて既に當局發表の如く八十萬石を實證したるが政府は引續き指定商をして外米の買開を爲さしめつゝありて七月初めに到らば更に二十萬石の入津を見るべく九月迄には豫定の二百萬石を實現すべし…

一擔二三十錢方昂騰を報ぜり

●支那粟又低落 支那粟は昨今賣物次第に多く…更に三十錢內外低落せり

●黍は品薄高

十圓以下の賣物なしといふ

下關相場 ◉朝鮮米も不賣れ…

●當限納會す 一圓八十錢安値…

大の割安地 下げ餘地…

成行 依然底堅…

關七十錢空前の新高値に暴騰…新規六百石の手合…二圓二十錢に波瀾重疊を極めたり

▲當限受渡高 三圓三十錢受渡値段二十…渡方 受方…

市場雜觀 ▲昨後場は大阪前止二十四錢…

仁川期米 ▲二十八日前場(鈍狀) ▲第一節各地前寄來著にて當地當中川來先二十二圓十八錢と一錢高に寄付…

仁川正米 ▲籾の入津なし ▲正米別段變る模樣なきも朝來の降雨にて商談行はれず

生魚市場 ▲釜山水産市場(二十七日)▲水揚高(二千百〇五圓九十三錢)…

南大門の廻穀

汶山籾	一叺 平澤大豆	七叺
汶山白米	一叺 平澤小豆	一三叺
天安小豆	一叺 仁川大豆	三八叺
南山天麥	三一六叺	

◉朝鮮一等白米 廿九圓八九十錢 ◉同(常用)三十圓 ◉平澤大豆 十八圓 ◉同 十八圓十錢 ◉元山大豆 十八圓六十錢 ◉同 十八圓七十錢 ◉新義州大豆 十八圓

昨止より八錢安 …

視して買方の正…

仁川米豆取引所仲買人 齋藤榮之助 仁川海岸町 電話長三六七・三六九

仁川米豆取引所仲買人 今村覺次郎 仁川海岸町三丁目 電話

仁川米豆取引所仲買人 三巴仲買店 仁川海岸町三丁目

仁川取引所 二十八日の八月限 …

小賣白米 現金賣 一等白米 二十八錢五 二等白米 二十八錢

白米標準値 二十七圓六十錢

晴後曇

◇仁川期米 △光限寄付 二十五圓四十錢 △二十八日仲場 大阪堂島米著にて光限二十二圓八[illegible]

△後場 先限一節二十二圓八十錢七[illegible] 十九錢八錢七一六錢五錢四錢三錢 一錢三錢二錢一錢七錢六錢九錢八錢 錢五錢六錢五錢六錢八錢七錢九錢 八錢九錢八錢七錢八錢二節六錢八錢 [illegible]

仁川米豆取引所 二十八日の八月限

[illegible]

奥地の擾亂と運輸上の影響

●運賃の激騰と輸送力

今回支那官憲が東西兩援及び黒河の税關を閉じ輸出の制限を解きたるに付き哈爾賓の市場は遽かに活氣を呈し來り殊に税關の閉鎖に伴ひ諸物貨の缺乏を來したる黒龍江州地方にては麥粉の如き一封度に付實際は四十七八留なりしも一時百留と云ふ高値を出し居れりとさへ傳へられし程なり故に同方面に向けんとする諸物貨頗る多數に上り逸早く松花江の汽船を我が手に納めて機敏に輸送を了らんとせしもの多かりしが、該船舶は何れも一二箇月前より契約済のもの多き事とて目的を達せず爲めに船舶に對する運賃一封度五留位のものが一封度に對し其の値段のみにて二十五ルーブル以上に騰貴されつゝあり赤船主側にては寧ろ麻袋或は安平の如きもの輸送は殆んど受付けず加之比較的運賃良き麥粉、砂糖の如きものへ喜ばず主として賃率其他最も割合よき綿絲綿布類の如きもののみ拓送されん事を要望し居れる有様なり又荷主側にては從來黒河仕向けの物にて露領側の物は往々過激派の爲に沒收されし事ある例に鑑み今回は對岸露領側を避け殆んど在那領埠頭著にて發送し且つ荷受主の如きも

露人の苑名を避け

成るべく支那人名義にて發送せんとするもの甚だ多き模樣なるが兎に角我が滿鐵線には其の引受輸送を制限され居る上三方の輸出路を閉鎖されし爲め一時沈滯非常に不振に陷りたる哈爾賓市場も解禁の報傳はると共に此際一擧事を成さんとて各商人の活躍盛んなる爲め非常に緊張の氣分を現はし來れりと傳へらる尚東部國境に於ては過激派及び反過激派の抗爭止まざる爲め列車の運轉を開始するに至らず

爲に折角の開放も

無駄事に終らんとする虞れあるより支那官憲は更に過激派及び反過激派の間に調停を試みたる結果雙方とも軍備を撤退し列車の聯絡運轉を爲すことに商議纏まりたるやにて一兩日中には浦鹽、哈爾賓間交通開始するに至るべし(長春)

●食糧と解禁

過般來問題となり居たる西伯利亞に對する食糧品の禁輸に對し支那政府は解禁を通告せり右は駐支露國公使コダシエフ氏より米國公使に依頼し米國公使がその解禁を要求したる結果と傳へらる前に哈爾賓に於ける日英佛領事團は解禁の時機に非ざるを主張し米國側のみ解禁を主張し居りしが今日愈々解禁に至りしは其の後勿論北京協商側の公使間に於て商議され意見一致を見たる結果なるべし(北京)

●合辨新銀行

南洋華僑代表許又銘李貢海兩人は中華滙業銀行に則り過般北京に來りし議員團の澤來太郎、佐々木氏等と聯絡し北京に華僑實業銀行を組織せんと其の計畫を政府に提出せりと支那側にて傳ふ同銀行は株式有限會社とし資本一千萬元二十萬株とし毎株五十元而して株の割當は十分の七を支那側にて十分の三を日本側にて引受くることゝし其他營業規則は滙業銀行と大差なしと聞く所によれば右はもと香港に於ける華僑有志家林麗生氏の發起に基づくものなりと(北京)

●吉會鐵道豫備契約

吉會鐵道借款二千萬圓は日本興業銀行朝鮮銀行及び臺灣銀行三行の代表たる日本興業銀行と支那政府の間に交渉されしが愈々契約成立を告げたるを以て本月十八日興業銀行總裁土方久徴代理吉川孝秀氏と支那政府交通總長曹汝霖氏との間に交通部にて其の豫備契約に調印せり其條件左の如し

(用途)吉會鐵道建築費(擔保)吉會鐵道財産及其收入(債の形式)公債の募集日本興業銀行臺灣銀行及朝鮮銀行をして發行の任に當らしむ(前貸金)吉會鐵道建設準備金一千萬圓(關門經費)日支兩國政府折半負擔

尚ほその前渡金一千萬元は興業銀行より東京にて章公使の手に交付せられたり契約の細目協定は不日交渉を開始せらるべし鐵道工事は支那政府擔任すべく規定す(北京)

●形勢セ將軍に漸く有利となりて 支那側遂に我を折る 荒木中佐の調停効を奏す

セミヨノフ軍今回の武裝解除説に付き或る信ずべき報によれば滿洲里の支那軍憲は曩にセミヨノフ軍の形勢不利なりと見るや中央政府の命なりとてセ軍に對し支那領土に入る事あれば其の武裝を解除すべしと強硬なる通告を發したるが其の態度の頗る強硬なりしは目下セミヨノフに對し反感を有するホルワット一派殊にコルチヤクの一派は種々術策を廻らし支那軍憲を煽動したる上其の背後には某國の存りて間接に之れを使嗾したるものゝ如かりしが其後來著せる我が荒木陸軍中佐の調停ありたるのみならず過激派軍が東部西伯利亞騷亂に應じ自らダウリヤ戰線を放棄し復退したる爲彼我の形勢に變化を來したるより支那側も無理に主張を貫徹する能はざる立場となり結局妥協成立し事無きを得たり(奉天)

●水陸の連絡が頗る便利になる

釜山第二棧橋竣成の爲め

關釜間連絡貨物輸送の頻繁に伴ふ緊急設備たる第二棧橋も愈々竣工を見るに至りたるを以て來る七月一日滿鐵、鮮鐵兩所管理局及び稅關は相謀りて盛大なる祝賀會を開催する由之れと同時に同日より愈々第二棧橋の使用を開始し從來使用したる草梁聯絡貨物取扱所を撤廢する筈なり故に從來の繁を省き輸移出入共に定期船即ち連絡船に依るものは輸出入共第一棧橋に於て荷役を爲し貨物專用船のものは第二棧橋に於て取扱ふ事となりしを以て一般取扱上の事故は自然減少すべく鐵道側の取扱ひ手續きも簡易となり雙方の利益大なるべし又た現在の貨物專用船御嶽丸は八月末日チャーター期限を經過するを以て其の代船として龍飛丸(千噸)の廻航する事は既報の通りなるが而して猶釜山埠頭の滯貨は約千五百餘噸を外に通知濟の未著貨物(目下貨車積みにて運送中のもの)約千噸あり計約二千五百噸に過ぎざれども第二棧橋使用開始と共に從來と異り第一第二棧橋共に輸移出貨物の堆積のみに使用する事不可能にして出入共に相當の敷地を要するを以て滿鐵にては目下奥地の荷受けを制限し本月末日迄には釜山埠頭の滯貨を一掃するの方針なりと(釜山)

●岩崎男來鮮

三菱合資會社々長男爵岩崎小彌太氏は三菱の事業たる兼二浦製鐵所視察の爲め二十七日東京出發三菱造船會社長武田、三菱製鐵株式會社富川常務取締役と共に來鮮し途中何處にも下車せず三十日兼二浦著の豫定にて宿所は製鐵所迎賓館なりと因に同男は兼二浦に約一週日滯在すべし(兼二浦)

◉日支情話 赤縁の扇

當年紅顔の美丈夫が 窶れし痩軀に

昔を語る一場のローマンス

支那前司法總長林長民氏といへば黒い鬚の瘦せた仙人のやうな人である、然し林氏も今でこそ形容枯槁して屈原のやうな顔をしてゐるが之れでも其昔し日本留學時代は天晴れ紅顔の美丈夫で墨堤の櫻花散る春の宵または愛宕山に月清き秋の夜なぞは時々新橋や神樂坂の待合に天涯羇旅の遣瀨なき鬱を散じたものである、今度北方の代表として湯化龍氏と十幾年振で日本へ赴いて留學生時代の昔を追懷し年を追うて開化し行く日本の文化を歎稱したが丁度東都の一夜帝國ホテルで兩氏の歡迎會が開かれたとき花のお江戸の阿嬌數十名は兩氏の左右に侍つた、ところが恰度林氏の側に坐した

●一美妓は如何にも懷かしさうに

林氏に話しかけた

その話は斯うであつた、自分はまだ小さいお酌であつた頃姉さんに伴はれて或る支那の方の御座敷に出たことがありました、其の時一人の若い美しい御國の方が妾の扇に字を書いて下すつた、妾はその扇を大切に〱して十幾年も肌身離さず持つてゐてお國の方の御座敷に出る毎に其の御方のことを話さぬことはありませんでした、其の方は何んでも

●大きう出世してゐるとのことだが

斬雲鵬さんといふ方

が仰しやいましたので其の話をして大切な扇を見せて上げたところが人の惡い斬旦那は此の方にお前の話をするからと云つて無理に扇を持て行かれまた其後何んとも便りがない所を見ると話も傳へられず扇もどこかへ棄てられたに違ひないから思へば惜しいことをしました、たゞ私は今でも此の美しい方を想うては御國の方が懷かしくてならないと林氏は優しき藝妓の情話につりこまれ、して其の扇の名は何んと書いてあつたと問へば

●それはヘヤシナガタミさんです

と聞きコハ意外也

その林長民とは此の俺であるといへば藝妓はまた喫驚り、まあ貴下がと林氏の顔を穴のあく程見つめても思ひ出せず、それより兩人で色々話をして見れば成る程話は寸分違はぬ、さては貴下がナガタミさん、私はその時のお酌でしたよと十幾年振りの不可思議なる邂逅に清い日支のローマンスを物語つたとのこと、長民さんは北京へ歸つて來た、今日でも其藝妓の寫眞を机上に飾りては遠く思を東都に馳せてゐるとか。

●さうして此の藝妓は萬龍といふ

元の萬龍の妹分で

あつた、此の話を聞いた留日學生監督江庸氏の嚴君は酷く日本の藝妓なるものゝ情誼の厚さに感歎し之れは教育の力もあらうが、支那の藝妓などには迚も探しても見つからぬ、櫻花咲く國の乙女は斯程に麗しいものであるかと頻りに感服してしまつてゐるさうだ(北京)

第四回

京日お伽講演會

皆さんお待ち兼の 面白くて爲になる

期日 六月卅日(日曜)午後一時

會場 櫻井尋常小學校講堂

主催 京城日報社

◉頻々たる大豆の火事

‖凡べて放火か ●犯人は同一人に非ずや●

大連滿鐵埠頭構内大豆野積場より去る廿五日午前五時復々出火したるが之れにて野積大豆の火災七回に及び埠頭に於ける警戒と消火設備完備せるとを以て出火と殆ど同時に發見し直ちに消火に從事せるを以て大豆約五車を燒失し大事に至らずして消し止め得たるが過日來出火の原因に就きては埠頭事務所警務署にて極力搜索し居るも七回共原因不明なるが最早放火なる事丈けは疑なき事實となり過日來滿鐵埠頭にては構内出入者には一々腕章を付せしめ外來者に對しては嚴重なる警戒を爲し居れるが火災は依然として頻發し第四回目に火災現場より逃走せる支那人嫌疑者を逮捕し今猶ほ拘留中なるが之れ又出火は絶滅に至らず一時燒擲大豆の拂下げを受くる目的者の放火なるべしとの風說ありたるを以て三井物産にては罹災大豆の入札をも中止せるが亦其効果なく埠頭構内引込線の機關車より飛火するに非ずやとの説に對し警務署にては直ちに署員を機關車に試乘せしめ試驗を行ひたるが之れ又十餘年間構内を運轉し未だ一回も出火せしめざるに本年三月以來七回迄も發火せしむる所謂なく此の他凡ゆる研究を重ねたるも原因は依然不明なるが漸次研究の歩を進むと共に漸く原因の範圍縮少し警務署にては近く大活動を開始すると共に犯人の檢擧を行ふべしと(大連)

◉連絡船上陸客 二十七日午前釜山入港博愛丸一二等客 [illegible] 三、佐藤久太郎、成部候、白永殷、金康殷、[illegible] 車、成潮温、榎本貫太郎、寺村虎野、同琴、[illegible] 市、中島倹大、村上木良、同うた、同長良、[illegible] 監吉、片岡民吉、岡西平次、堀池さだ、小川[illegible] 野上理吉、小川彦四郎、尾崎しげ、[illegible] 山田虎吉、森田しげ、佐野さ[illegible] ん、金子小坂、野村勝、[illegible] 三等(二十五名) 川上[illegible] 岡辰巳、同勘三郎、深田せい、林[illegible] 稻、同まさ、同あい、[illegible] 川口安次郎、王鶴榮、劉成寶、[illegible] 陽、川上十郎、同さい、成田かち、同みち、八田 吉平、渡邊つき、外人三名 三等(七十名)

[illegible]

▲[illegible]「心細いものは」 ▲謎「謎かけて」 ▲一口噺「時事」 ▲下句付「大相撲」 ▲俗謠「浴衣」 ▲川柳「紳士」

廿九日 三十日 一日 二日 三日 四日 五日

▲種類の如何に拘らず [illegible] 以内の事▲投書は一週間以内に [illegible] 又は同案發表後一週間以内に [illegible] 見通告者には五十錢 [illegible] 但し何番何號と明記に限る▲[illegible] 京城日報編輯局讀者文藝係

[illegible]

京日愛讀者優待

東京大相撲

木戸割引券

(京城興行中)

後援 京城日報社

京城日報御愛讀者にして此割引券御持參の御方は卅錢の木戸料を廿錢に割引致候

京日愛讀者優待

東京相撲 特等割引證

此割引證を附錄記載の各商店へ御持參相成ば特等席(上段棧敷)木戸共一圓三十錢に割引しサツポロビール一本(大)進呈す

詳細は附錄記載の社告を御覧下さい

◆本證は一枚一名限り但し小兒は二名まで

◆東京大相撲京城興行中通用す

京城日報社

第一回決算報告

(大正七年上半期)

貸借對照表

貸方(負債之部)

科目	金額
株金	五、〇〇〇、〇〇〇・〇〇
借入金	一三〇、〇〇〇・〇〇
職員職工身元保證金	二、五八六・五三
預リ金	七、四一〇・六五
掛買金	三四、〇四七・〇六
假收入金	二、九一八・三五
當期利益金	一四、七四一・八七
合計	五、一九一、七〇四・四六

借方(資産之部)

科目	金額
地所	二〇二、三八一・一九
建物及諸工作物	四、四五二・五〇
什品	五、五五二・〇七
未拂込株金	三、七五〇、〇〇〇・〇〇
銀行預ケ金	一九七、〇七〇・六三
有價證券	一九、九五〇・三〇
建設費	一一〇、二九六・五八
王子製紙株式會社勘定	一一、六三六・五九
貯藏物品	一四六、八九三・七六
山林部勘定	一六二、三七三・三八
假支出金	五八〇、六八五・八七
現金	四一一・五九
合計金	五、一九一、七〇四・四六

利益金處分

科目	金額
當期利益金	一四、七四一・八七
右後期へ繰越	

右報告候也

大正七年六月

朝鮮製紙株式會社

取締役會長 藤原銀次郎
常務取締役 原 鐵三郎
取締役 大橋新太郎
取締役 有賀長文
取締役 高島菊次郎
取締役 高田直乾
取締役 小笠原菊次郎
監査役 高野省三
監査役 飯田邦彦
監査役 趙鎮泰

▲蚊帳▼

『○御安すい時機に仕入ました『かや』が澤山持合せて居りますから安く提供致します

龍山元町 こまや 植西呉服店 電話四二八番

防水布 ゴム引マント

京城明治町二丁目 古賀喜商店 電話一八三三番

質 大塚質店

京城明治町二丁目元昭町 電話一八四九

◎戰慄すべき火災の防備に遺憾なき完全倉庫あり

◎多額の融通も出來得る限り御便宜を圖る

大連燒酎

於大正元年拓殖博覽會 金牌

於同二年明治紀念博覽會 金牌

於大正三年大正博覽會 銀牌

於同六年化學工業博覽會 銀牌

開業以來以上四個の賞牌を頂きました事は品質の優良なるを證明するものです

大連燒酎製造所 九鬼榮助

於東京化學工業博覽會

金牌 受領

最上醬油

釀造元

日本醬油株式會社

權威ある

スター サイダー シトロン タンサン 果實蜜

の甘き香ばしき露は今や鮮滿の野を普く潤せり

製造元 京城岡崎町(電話一四二〇番) 京城清涼社 振替京城一九二三番

花菖蒲壹萬本

サツポロビール 愛飲家に無代進呈

◇龍山彩花園の花菖蒲は昨今滿開にて紫白とりどりの美々しく咲き初めました、今回同園主の希望に基づき同花菖蒲切り株壹萬本を限りサツポロビール愛飲家に汎く無代御分配申上ます御望の御方は最寄サツポロビール販賣店に御申込下さい早速御届け申上ます……

サツポロビール釀造元

大日本麥酒株式會社

京城出張所

汽車 京釜線（南行）（北行） 京義線（北行）（南行） 京仁線 京元線（北行）（南行） 同 [illegible]

塚原卜傳

悟道軒圓玉口演

第百二十席

塚原小太郎の顔を見て鳥山石庵老ホッと吐息を吐いて石『イヤ小太郎、殿無事にて何より安堵いたした。之れには種々仔細ある事、何は兎もあれ緩くりお話申すから奥へ通して貰ひたい』小『サア此方へ』と小太郎案内をいたす、三人門を入り玄關口から一間へ通りました、小太郎鳥山老人を初め下國親娘が一緒に來たから何か之れには事情のある事と思ひ、改めて一別以來の挨拶をいたし、猶先年來の厚誼を謝しました、鳥山も叮嚀に禮を返す、下國親娘も小太郎に向つて先年の恩義を泪と共に禮を述べ

猶鳥山先生の御治療を受けてさしも難治の眼病も拭ふが如く平癒したる由を物語りましたから小太郎も大に喜こび、其無事を祝し、猶石庵老人の骨折りを改めて謝しました、其後小太郎が今までの苦心の次第を細大述べましたから一同も泪を流して其苦勞を慰さめる、時に小太郎が小『何うして小太郎が當所に居るといふ事を御存じでお訪ね下された』と聞くから石庵路を進めて下國親娘の恩義を忘れぬ心から東國へ下らんといつた事より自分も連立つて下向した事、淺草觀世音の參詣の歸途、圖らず聞いた一大事より遂に隅田川の船中で船頭を捕へ、其口より在所を聞取つて一大事を知らせんため、尋ねて來た事等を落もなく物語りました、之れを承はつて小太郎一度は驚ろきまた一度は喜び、小『燈

臺下暗しと下世話に申すは此事、御知らせなくば明日小太郎、宮戸川の船中にて脆くも一命を失なふ所でござつた、實は當江戸城の主遠山丹波守は北條の旗下の大名なれば先年小田原にて北條家の奸計に陷り石牢に囚はれし事もあり、同じ北條の指揮に依つて又もや拙者を捕へんためにはあらざるかと思はぬ事はなかりしが、親族なる當家の島村小才治が折角の骨折りといひ、其勸めに默し難く假令何の計略あるにもせよ、弓矢刹の譲りあれば恐るゝに足らずと決心し已に明日老臣なる戸室今中の案内にて城内に參り、遠山丹波守に逢ひて後其待遇なる宮戸川の舟遊び一日の歡會を盡すつもりでござつたが、思ひ寄らざる其奸謀、拙者龍虎の威ありといふとも水中にては敵し難し、大望ある身を空しく水底の藻屑となす處、夫れに付けても老先生初め下國殿親子の御心盡し、小太郎何と御禮を申して宜いか御高恩生々世々忘却は仕つらず、忝けなう存ずる』石『イヤ左様御禮では痛入る、併し一旦免れたりとも此儘當地に永居せば再たび如何なる計略をなさんも知れず、孰なる上は今夜の中に當所をお立退きあるが宜しからうと存ずる』小『御尤もでござる、拙者もさうは考へますが……』と何か小太郎差俯向いて思案の體、佐太夫が、佐『何か御思案の樣子でございますが、一刻延びても事面倒、其れより早く御出立なすつたが宜しうございませう』小『イヤ各々の御心配は忝けないが實を申せば今拙者が身を大切に存じて當地を立退けば當家の主島村小才治殿が大迷惑をする、其仔細は小才治殿と今中等は永年の惡意、假令先方が惡事を行はんためとは言ながら小才治殿が一旦小太郎を同道して城内へ出でると約束した以上、其れを反古にして拙者が逃げたとは申されぬ武士の面目に係はる亦固より小才治殿は拙者の從弟、決して小太郎を死地に陷入れる心があつて城内へ導くのではないから萬一拙者が此事を打明け當家を立去るとしたらよも小才治殿は無事には生きて居るまい、之れが拙者の心掛りでござる』と後々を案じての言葉に三人も尤もに感じて言葉なく同じく差俯向いて思案の體、處へ用人原田孫右衛門襖の外から、孫『塚原樣、一大事出來いたしました』

院長 醫學士 森定吉
（美容醫院改め）
森 内科 小兒科 病院
入院隨意
京城明治町二丁目七五鶴田醫院跡 電話二六三三番

今日のおやつは
モナカときめて
電話かけましよ木村屋へ
（京城明治町 電二八七〇）

六月三十日 九星
舊五月廿二日 戊申
本命一白 北譜女 引

▲一白 手數掛となることも有日… [illegible] ▲二黒 約束のお流となる事有日 [illegible] ▲三碧 … 涼しき日 … ▲七赤 … ▲九紫 自… [illegible]

演藝案内

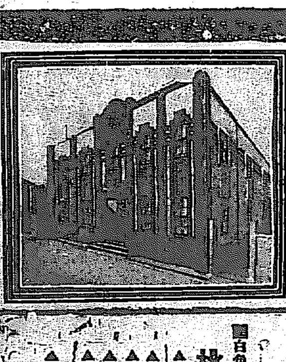
黄金館
電話二三六七 二三六六
天活色活動寫眞株式會社京城釜山一手代理店
一、泰西喜劇ドウアープの陷落
一、… 『風來太郎』 全三卷
… 『創痕』 五千呎
… 『人の情話』 全四卷
[illegible]

有樂館
早川演藝部直營 活動寫眞常設館
電話（階上）五八七番（階下）三〇五番
當る六月廿八日より公開
▽實寫 スクリン、マガジン 第二十四號
▽米國ユ社 バイスン映畫
○人情活劇『ラスは何處へ』全二卷
○米國ユ社特作 … 『第二ダイヤの一』…
○人悲劇『薔薇の咲くまで』全五卷
… 『人の情け』 全二場
[illegible]

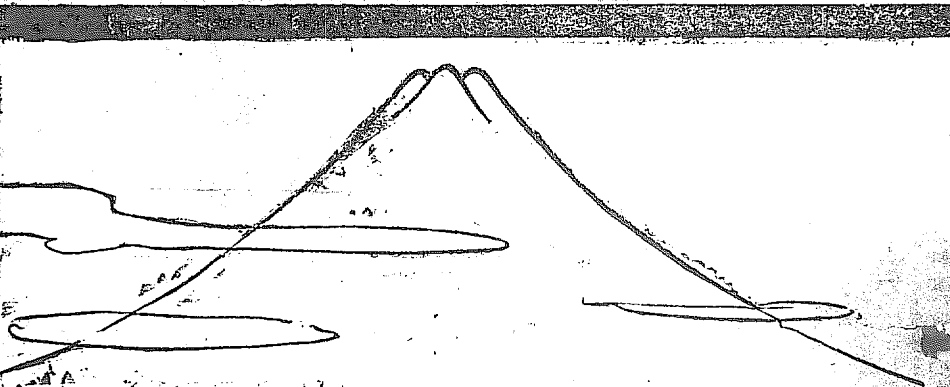
壽館
京城本町 電話一〇五〇
女流浪界の正福斜 笑樂家賀孃改め『平一喜』一行
當る廿八日午後六時より（六日）
▲春色咲分梅 小一喜 ▲彦山利生記
▲左甚五郎 ▲元祿快擧錄 ▲武…
▲『倉橋傳助』（續） ▲北越…
流祖錄（續） 美談（續）… 八雲琴二味線合奏 …
[illegible]

大正館
櫻井町 電話八七三
日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店
當る二十八日より寫眞提供
▲英國シーエフ社作
▲大滑稽『チャプリンと行燈』最長尺
○軍事活劇『勇敢なる兵士』全三卷
○新派悲劇『雁の便り』全四卷
○舊劇『夏目千太郎』全四卷
豫告 …
[illegible]

[illegible]



白色美顔水を創製したる
桃谷研究試驗所
▲所長 藥學士 桃谷幹次郎
▲技師 理學士 西澤勇智志
▲同 醫學士 米倉昌達
▲同 藥學士 小磯勝次郎
▲同 同藥學士 齋藤銳助
▲顧問 藥學博士 丹波敬三氏 醫學博士 山本淳二氏



人氣ますく盛なる
白色美顔水

現今の御婦人方全體の御希望にぴつたり適つた新化粧料

▲實に意外な話があります。皆樣はよく、少しも態とらしい所が無く極く自然にスッキリと氣持のよいお化粧顔の方を御見かけに成ませう。而て傍程お化粧上手の方が、何か特別の

▲秘密な方法に依らないでは彼あは行かぬとお思に成ませう。所が案外にもあお化粧が今では實に努なく出來る時代となつて居りますのです。あれは光榮ある桃谷研究試驗所創製

▲三十六種の高貴御用品の内の一種として、今大變な人氣になつてゐる白色美顔水でお化粧なさつたのです。實際此品でお化粧すれば、努なく、見事に、丁度生れついて色白の方の

▲自然の儘の色の白さ、美しさ……。あゝ言つた美しさを、極く美術的に、それでゐて少しも態とらしくなく發揮す樣に成つてゐるから妙です。一體從來お化粧と言ものは概して

▲婦人の苦痛の種になつて居たもので、兎角不自然で白ペンキの樣に白かつたり、何となく薄黒かつたり、斑だつたりして、何うも充分綺麗に行かなかつたものですが、白色美顔水が

▲學者の研究で世に現れてから、全く然ういふ心配が無くなつたので、婦人方の滿足此上なく、忽ち大變な歡迎を受け、今ますく流行となつて居るのですが、では白色美顔水とは

▲どんなものかと言ひますと、普通の水へ白粉を溶込んだ樣な品で無く、桃谷研究試驗所で新に發見した美容成分と或特種の白粉を元にしてありますので、第一被覆力が強い爲附て

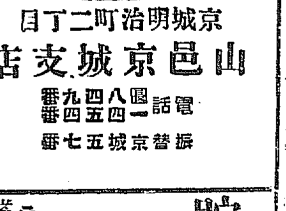
▲斑にならず生れつき色が白い樣な白さに附き、第二に白粉の原料に殊に光澤のよいものを撰んである爲其白さに如何にも活々した艶が添ひ、第三に前に申しました新しい美容成分の

▲新しい作用から化粧の一時的の美しさばかりで無く、常用するうち生地から皮膚を艶麗にし素顔の美を増す特色があります。化粧を一層自然に態とらしくなく而て美術的にと言ふ

▲近來の婦人方全體の御希望は、始めて白色美顔水で滿されたのであります。斯ういふ完全な化粧料ですから、白色美顔水は高貴の方々の御間にも始終御愛用を拜して居ますのです

朝鮮總督府編纂「最新刊」
東部西伯利地圖
定價金參拾五錢 郵税二錢
右部數僅少品切れとなるの恐れあり至急御注文被下度候
發賣元 京城太平通 京城日報社代理部
電話長六〇〇 振替京城三〇〇九番

比較は最良の撰擇法なり!!
サクラ正宗 サクラ正宗



京城明治町二丁目
山邑京城支店
電話 圓八四九番 一四五四番
振替京城五七番

貯蓄預金 元金壹圓ニ付日歩壹錢三厘 金壹錢以上何程ニテモ御預リ申候
株式會社長崎貯蓄銀行代理店
株式會社十八銀行京城支店 京城黄金町電話四二〇番 振替貯金口座京城八五八番
同 龍山出張所 龍山元町二丁目 電話一八番
諸預金貸付爲替銀行一般ノ業務ハ精々御便利ニ取扱可申候

京城日報　第五版　二十九日朝刊（朝夕刊を併せて八頁）

北方廣東討伐

支那政界は、近日又々、形勢變化を、示さんとするもの丶如し。南北妥協の如きは、最早到底見込立たず、北方は更に、廣東を懲たんとして、張懷芝を、援粤總司令に任命し、張は二十三日天津を發し、濟南に歸れるが、同地滯在二日後、徐州を經て蚌埠に立寄り、倪嗣冲と會見後、南京より九江を經て、本月末迄には、漢口に到著すべき、日取なりと云ふ。而して一時同地に滯在、總司令部を置きて、廣東討伐の萬事を、計畫すべしと傳へらる。中央政府の廣東討伐に對する意氣は、昨今頗る騰昂して、却々當るべからず、段總理の如き、一箇月後には、必ず廣東全省を恢復すべしと聲明し、倘ほ京津奉天の間を、奔馳しつ丶ある龍濟光の如きも、中秋節以前には、必ず廣東を恢復すべしと揚言しつ丶あり。然れども廣東には、李烈鈞、陸榮廷の鞏固なる援手あり、西南軍二箇師團を有し、且つ莫榮新の一個師團ありて、竊に北兵の來攻を待つあれば、段總理、龍濟光等の言の如く、容易に攻取するは、蓋し頗る難事たるの觀なき能はざる也。

更らに中央政府側の作戰としては、龍濟光軍は、僅に遊擊として重用せず、努めて福建、湖南、江西に力を注ぎ、作戰進展と共に、一擧にして廣東に侵入し、韶州を奪取すべく、茲に於て天下の形勢は、忽ち決すべしとなすが如し。即ち其作戰には、目下廣東には李耀漢の如き、莫榮新の如き、形勢觀望中の者多きが故に、北軍にして一旦韶州を陷れんか、彼等は翕然として、北軍に加擔すべしと、云ふにあるに似たり。然れども現下廣東の形勢は、北方に於て想像するが如きものに非ず。最近陸榮廷の對北態度漸く明瞭となり。爲に從來陸に對して、猜疑を抱きたる李烈鈞は、其誤解釋然として解け、今や李、陸の關係は頗る密接となりたれば、省内に於ける兩者の勢力は蓋し想像以外に、偉大なるものあり。而して現時廣東に於ける龍濟光軍の如きは廣東、雲南軍の爲、三路より壓迫せられて、僅に雷州半島に追込まれ、漸く餘勢を保ちつ丶ある、李嘉品の率ゆる敗兵の軍隊あるのみ。殊に龍濟光が、廣東に勢力を張り居たるは、土匪の與りて、力ある爲なりしも、土匪の徒の敗走と共に、土匪も既に解散したれば、最早其の勢力は云ふに足らず。若し南方にして土匪を利用するとせば、北方軍の廣東上陸は勿論、武器の輸送にも、大障害を生ずべき亦、論を俟たざる處也。

要するに今回の廣東討伐は、事容易に似て、其實幾多の困難あるべく、北方は多大の犧牲を拂ふ事を、決心せざるべからず。唯北方の軍費充實の點に於ては、南方の比すべきにも非ざれば、北方の決心次第に於ては、或は一旦の平定は期し難しとも言へざる也。然ども廣東恢復は、南方無上の大打擊たるが故に、南方とても、却々容易に敵手に委せざるは勿論なるべし。されば此の結果の引て、支那中央政界に及ぼす處、尠少ならざるを知るべし。

内地の宋學に就て（三）

今關天彭氏講演

鳳岡と相前後して山崎闇齋が出ました。この人の學統は惺窩、の京學、羅山の江戸學の外に南海道の土佐に於て谷時中と云ふ人が唱へた南學と稱する朱學の一派がありましたが、この谷時中から傳へられて更にその學風を大成したのであります。闇齋の學風は專ら力を四書、近思錄の研究に注ぎ、多く書物を讀むことを嫌ひ、また詩文を作るのを遊戲なりとして之を排斥し、君子の詞はれた敬以直内、義以直外云云の敬と義とを以て道德の大切なるものとなし、修身の要道は茲に在りとして專念之が實踐躬行に從事し又陸王の學と佛教との排斥に努めましたが其學說の他の宋學者と最も異つた點は義理を說いて日本の國體と合致させた點に在ます。そこで闇齋は晚年遂に一家の神道說を構成して神道者となりました。此學派を闇齋學と申して居ります。門下に佐藤直方淺見絅齋、三宅尚齋などがありまして、皆何れも錚々たるものであるが、就中淺見絅齋は王覇の辨を力を注いで、その著はした靖獻遺言は明治中興に關係があるものであります。但しこれ等の人々は、皆闇齋が神道を倡へてから後は、これに從はずして義絕した姿となりました。以上が德川幕府前半期に於ける宋學の狀態であります。

德川幕府の後半期に於ける宋學界の出來事にして、最も記憶すべき事柄は寬政異學の禁であります、當時宋學界は人物出でずして、日に衰頹に向ひ、また一般學術界に於ては、伊藤仁齋の復古學、荻生徂徠の古文辭學が一盛一衰し、井上金峨等の倡へ出した折衷學が頗に流行の姿となり、議論まち〳〵となり、甲論乙駁、雜然囂然、しかも一般的傾向は學術下落の傾向であつたのであります。か丶る時に當りまして、賢相として名高い松平定信が十一代將軍家齊の輔佐役となりましたので、學政振興の方針を定め、民間から柴野栗山といふ人を拔擢して、學政改革の要衝に據ゑ、遂に朱子學にあらざる諸流の學派を指して異學となし、一切之れを禁止したのでありますが、一時論難は起つたけれども、幕府の權威によつて朱子學でない諸流の學派は、忽ち屛息して仕舞ひ、また各藩の學校も、大抵宋學に統一せられまして、茲に内地に於ける學風は全く宋學となつた次第であります（多少除例外はあつたにせよ）幾程もなく幕府の學官たる林家の八代目に述齋といふ傑物が出まして、その私塾であつた弘文館を幕府に獻じて官立學校と致しました、これが所謂昌平學校で、今日の帝國大學の前身であります。昌平學校の儒官となつた古賀精里其の子侗庵は有數の宋學者であります。

幕末になるに從ひ、宋學は再び衰頹の悲運に向ひ無論宋學者でなくてはならぬ筈の昌平學校の儒官であつても、漢唐に出入し宋明淸を折衷した一種の學風を奉ずるものが多くなり、こ丶に至つて宋學統一の方針も根本から頹れて來たのであります。これと同時に通鑑綱目の思想から變化した水戸の學風（德川光圀の創むる所）と、闇齋學の淺見絅齋等が唱へた大義名分を重んじて剛毅果敢なる宋學が學問する人々の間に歡迎せられて參り爲めに皇室の衰へたるを慨いて霸府の專權を憤つた志士は身を忘れて奮ひ起り、遂に明治中興の偉業となつたのであります。

◇木下かげ　石田富造

並行線　二十二

瀧閑村

湯ケ島に來てから十日經つた。田舍の叔父の所へ遊びに來たやうな暢々した氣持で、宣太郎は日又日を暮らして行つた。散步して食事をして、藥を飮んで、古い新聞を讀んで、そして寢るのが日々の勤めだつた。獨逸が敗けて聯合軍が勝つてもそれはさした價値の無いやうに見られた。其間には淨蓮の瀧へ行つたり、八丁池の近所迄行つて見たりしたが五日目からはソロ〳〵倦怠して來た。今迄非常に忙がしくて、極度に緊張してゐた心が、ゴム風船の空氣が拔けるやうに次第に弛緩して來て、ともすると欠伸ばかり出た。山中寒暖く、まだ梅が所々に白く殘つてゐる位で、霜の厚い朝も一二度あつた。併し靜養の効能は宣太郎の腦の痛みを大方忘れさせた。

二三冊持つて來た工業の書は一頁も開かれずに鞄の中に入つてゐた。そして大きな火鉢の傍には『水戸黃門記』『荒木又右衞門』などの講談本が開かれてあつた。斯うして一切を放擲した苦勞の無い生活と溫泉とは結ばれた宣太郎の胸を次第に溫めかして行つた。

それでも宣太郎には極めて物足りないものがあつた。遠からも、朝鮮の山本社長其他の知己からも手紙を受取つたが、靜子からは何の音信も手にしない一事であつた自分から待日でも出したいのを我慢してゐるのは、まだ公然許されたのでも無い女に音信する事の社長に對する無禮なのと、靜子から來ないのに此方から出すのは自尊心を傷けるやうに考へられた故であつた。それで居て、會社の事業の進行と共に、高山の活動を深く怖れた、此苦い心持は胸の底に段々分量を增して來た。

此焦躁と倦怠とは宣太郎に此山中を去らうと考へさせた。十一日目の朝宣太郎は階下へ降りて

『永くお世話になつたが、今日は歸りたいと思ふから勘定をして下さい。』

『わらく急ですなア、もう少しゆツくりしたすツちやア』と亭主は內臟の投網を梳く手を止め作ら、いかにも殘惜しさうに云つた。

『一寸用もあるから……又出掛けて來ます、どらお名殘にモウ一風呂浴びようか。』

ゆツくり入浴して仕度して宣太郎は此宿を出たのはモウ正午近かつた茶代返しに乾した椎茸をくれたのも山の中の溫泉を思はせた。川岸の藪がくれに燃ゆるやうな椿が咲いて、馴れぬ聲で鶯が鳴いてゐた。空にはまだ冬が殘つてゐても土には既に春の通つてゐるのを知つた。天城街道へ出ると下りの馬車が今出る處であつた。乘客は殆ど滿員だつた。『俺は此方へきやせう』と云ふので御車臺へ預けても猶宣太郎は甚しい窮屈を忍ばなければならなかつた。プー〳〵喇叭を鳴らし作ら

『ぢや行つて來るぞ』と御者は建場の人に挨拶して手綱を引くと馬車はポカ〳〵步み出した、途端に車は大きく一搖れ搖れて、客は危く鉢合せをする處だつた。

『危ない〳〵靜に賴むぜ。』

『別嬪さんなら賴んでも打付けたからうになア』と云つた行商人らしい男の言葉に、一同は大笑をした。

車は絕えず搖れ作ら、湯ケ島を離れた。窓の横からさす日が眠くなる程暖い。

忘機吟社六月例年席上（其三）　志智敬愛

○

柴門剝啄歇鳴蛙。時見故人來駐車。一笑披襟風滿座。數行巡遊月鏡紗。殷勤留意評鄉友。話譚合情議與家。香話新誠與無限。深更忘寐剔燈花。

學鷗日。眞情樸切。自然成文。

○　高井　椿堂

相逢愧我皆時顏。何日乘槎故國還。憑看吾兄心未老。觀風今又入韓山。

○

隔絕多年感慨頻。老來我皆帶風塵。逢君先問故鄉友。結社如今存幾人。

學鷗日。二首曲折盡意。最可詠誦。

○　栗原　華陽

與君別後幾經年。傾耳家鄉多變遷。一喜一憂人世事。至今何幸兩身全。

學鷗日。平淡。亦有眞情。

○　齋藤　三頁

蛙鼓歇處乍停車。月下飄然叩我居。話到故山情不耐。況催驛吏帶霜疎。

學鷗日。前半最有幽致。

○　成田　魯石

某山某水別農桑。千里敲門話故鄉。一夢十年多感慨。老來難掃鬢邊霜。

學鷗日。輕輕著筆。情餘乎詞。

（○雜誌抄）

◎あゝ誰あらう、此の名高い俳人こそ（講談倶樂部）

松尾甚七郎は伊賀上野の藩士であつたが若君蟬吟の時に袴が綻ろびたので袴を脫いで繼者に當る園江といふ奥女中に縫つて貰つたのを目付かつて不義の嫌疑の下に甚七郎も園江も永の暇になつた。園江は無念に耐へず投身して身を果てたが、甚七郎は其の後俳人となり其の名が高くなつたので故鄉の上野へ歸ると殿から招かれて色々情けある御言葉を賜はつた。時は彌生の何の後で庭の櫻が皆一時らに咲き揃つてゐたので

さまざまのこと思ひ出す櫻かな

と讀んで、早々君前を辭したのであつた誰あらう名高い此の俳人芭蕉翁こそ、松尾甚七郎の成れの果であつた

心身健全號　婦人之友七月號

心身健全の秘訣……羽仁もと子

病氣から健康へ　三宅博士

癖の矯正（なくて七癖　角を矯むる）

眼を癒せば神經衰弱も癒る　健康な女中なしの生活

主婦の讀物　長篇小說　野茨　長篇小說　幻影　德田秋聲　松居松葉

定價一冊三十錢　東京雜司ヶ谷　婦人之友社

鑛山・灌漑・排水　唧筒

東京鋼鐵株式會社製　中根式鑛内用押揚唧筒製作發賣元　○虎印八角鋼朝鮮發賣元

朝鮮總代理店　中根商會　京城南大門外　電話一〇〇四番

中根工場　京城岡崎町　電話一〇五番・二六五番

大正七年訂正版特價　壹千部限り特價金四圓五拾錢　送料内地十六錢　海外四十錢

東京帝國大學工科大學敎授　工學博士　俵國一先生序　東京高等工業學校敎授　河合匡先生著

機械工場用　金屬材料　第六版　菊版總クロース製八百餘頁　定價金五圓

金屬飢饉の今其試驗及加工等に關する新知識を獲得し成功を勝ち得んとする者には適當の指針也　本會品切なりしが茲に訂正增補せり

まづ見本を請求せよ

發兌　東京小石川表町一〇九　振替東京六一八〇　電話小石川一〇五〇・三〇一三　大日本工業學會

大賣捌　丸善、東京堂、北隆館、東海堂（京城）大坂屋號

スワン萬年ペン　宮内省御用品　本品の眞價は既に社會に定評あり　種々の名稱を附したる類似品多し　本品の軸部にはSWANの英字刻印押捺せり

釜山商店案内

酒精　壜詰入　燒酎　西貢米　碎米　大豆　大食料雜貨品　砂糖　麥粉　釜山埋立新町　福榮商會　電話長一〇八番

乾物　糖粉　煙草　雜貨　卸問屋　釜山　山西商店

雜貨問屋　明治屋本店

洋酒　罐詰　煉粉　卸商　釜山　やまづめ

京日案内

最新刊　支那の眞相　社會教育通俗講話　最新藥物學　圖書館敎育　世渡りの修養　常識作法　珠算精義　東都新繫昌記　天然發生法

中古ミシン買入　楠商店

年金恩給　江洲屋本店

寢台車　岡本組

博多屋本店

勸業債券特價買入

恩給年金立替　西村商會

愛國生命保險會社

外勤社員募集

紛失廣告　大屋洋服店

京城本町　大阪屋號

舟遊びには　漢江　遊船倶樂部　龍山電話一〇番

標準船舶調査會は内田遞信次官を委員長に岩宮管船局長を副委員長に海軍遞信兩當局海運協會役員係官廳其他關係當業者に諮問し

亞細亞銀行の内容

◎敵損害十五萬

伊軍強襲に成功す

廿五日附伊軍公報に曰く、第三軍は二十四日最後に殘りし敵の後衛を降服せしめピアヴエ右岸全部を奪回し捕虜將校十八名下士卒千六百九名を得たり又アジア高原、モンチデイヴスルデル方面の進擊中百名の捕虜を得たり、猶グラツパの西北正面一帶に於ては我軍は猛烈なる準備砲擊の後强襲を行ひ多大の戰利品と土地を獲取し敵に大損害を加へて捕虜千三百卅三名、機關銃十六挺を鹵獲し六月十五日以降に於て伊軍の捕虜となれる墺軍五萬を算したるが敵の全損害數は十五萬に達せりと（倫敦電報）

◎獨外相戰爭終局觀

獨逸帝國議會に於て外相キユールマン氏は戰局の大勢を槪說し戰爭は千九百十九年に至りて終熄するや否や今尚見込つかずと述べ大に人心を騷がせり（アムステルダム電報）

◎墺軍の大敗原因

墺軍大敗の原因は最高司令部に於て總豫備隊の使用を誤れるにあり伊軍の巧妙なる戰略は墺軍をして最後の斷案を誤らしめ全局の勝利を制したり（倫敦電報）

◎英米兵役協約批准

米國上院は英、米兵役協約を批准せり、此協約は兩國の兵役法を兩國人に對し相互に適用するものなり、目下米國に在留する英國民にして軍役に編入されし者三十一萬人、英國に在留する米國民は五萬四千人なり（華盛頓電報）

◎英米仲裁條約延期

米國上院は今回英、米一般仲裁條約を五箇年間延長することとせり（華盛頓電報）

◎伊太利政府に祝電

米國陸軍卿ベーカー氏は伊太利政府に對し次の如き祝電を發せり　米國民は伊太利の戰線に對し大攻勢を執れる敵軍に對し是を擊破したる大伊太利軍の赫々たる勳功を贊嘆して已まず（華盛頓電報）

◎如何にして出兵す可きか

英首相ロイドジヨージ氏の演說

英國首相ロイドジヨージ氏は二十五日下院に於て演說して曰く予の聞く處に據れば露國は今や前日に倍して獨逸人を國外に驅逐するの擧に參加せんと熱心に希望しつゝあり而して大規模を以て露國に兵を進め得る國は世界唯一國あり幷は日本なり然れども是には幾多の問題の相伴ふものある事は人の好く知る處なり露國人民は今日に至りて是を悟り聯合國に對する態度を改むると共に獨逸軍閥の意圖を怪むに至り其結果如何なる方法に依るを問はず獨人を國外に驅逐せんとするの運動に對しては是れに參加せんとするの念數月前より濃厚となるに至れり斯くの如く局面極めて有望なり、唯だ當面の問題は如何にして露國に兵を進め得るかにあり今日露國に兵を進め得る國は獨り日本あるのみなりと（倫敦電報）

◎兩將軍反過派應援

一度逝去を傳へられたるコロニコフ將軍は近くドトウイ將軍と共に烏拉爾、オレンブルクにて哥薩克兵を率ゐ西伯利反過激派應援の爲め出發せりと（長崎特電）

◎西伯利新政府組織

西部西伯利各都市の過激派軍は權力衰へ臨時政府の軍隊解散したるより新に社會革命黨を中心とし西伯利政府組織せられ同派領袖ゴブニコフ氏臨時執政官に選ばれ既に政務開始の旨一般市民に布告せりと（長崎特電）

◎孫文消息

孫逸仙氏は二十六日日本より上海に到著せり（上海特電）

◎保險解除

大連經濟界恐慌

大連埠頭の大豆火災頻發せるより關係火災保險十五社は東京に會議を開き商法第四百十一條に依り愈々五日限り保險契約を解除する事に決し十五社代理店三井物產より滿鐵會社に通告せるを以て倉庫內貨物及外の野積保管の貨物は廿八日より危險となりたる旨滿鐵より荷主に通報せり二十七日解除の保險金總額三千三百萬圓に上り各銀行業者は之れが回收に努む可く滿洲特產物に對する金融杜絕の狀況に陷り一般經濟界大恐慌を來し滿鐵其他にては目下善後策考究中なり（大連特電）

◎航空學講座新設

今回東京帝國大學內に航空學に關する講座五箇を新設し教授五名助手二十三名を置き航空學の理論を研究せしめ一方月島航空學研究所を擴張して航空の實驗を完からしむることに決定せり（東京特電）

◎獨佛語科目增設

文部省は臨時教育調査會の決議に依り中學校に英語の外獨佛兩國語を置き生徒の希望に依り正科とし修業せしむる事に決定す（東京特電）

◎朝鮮米內地移入促進

農商務省二十八日午後二時發表廿農商務省臨時外米管理部は朝鮮米の內地移入を促進する爲め三井物產、鈴木商店、湯淺商店の三指定商をして相當數量の外國米を釜山及び仁川に移入せしめ是を販賣せしむる事とし既に其手配を開始せり猶朝鮮米の內地移入促進に就ては相當の方法を斷行す可し（東京特電）

◎朝鮮製糖總會

朝鮮製糖株式會社にては二十八日午前九時半日本橋俱樂部に於て第一回定時株主總會を開き當期利益金一萬二千二百五十九圓七十九錢五厘を後期へ繰越す事とし同十時散會せり（東京特電）

◎補缺選擧結果

北海道　北海道郡部補缺選擧は二十八日開票の結果憲政會の前田卯之助氏七百十三票卽ち政友會の黑住候補の五百八十四票に對し百二十九票の多數にて當選せり（東京特電）

◎蓮田取引停止

大連特產物取引所にては野積品に對する保險契約解除の結果立合を危險と認め二十八日大豆、高粱の先物取引を停止したり（大連特電）

◎宮田中將來著

東京砲兵工廠提理宮田陸軍中將は視察の爲め二十八日午後九時半新義州著鐵道ホテルへ一泊せり（安東特電）

◎北里志賀兩博士

沖繩縣出張中の北里、志賀兩博士は廿九日夜下關發歸東の筈（門司特電）

◎內地人郡守任命期

宇佐美長官談

東上中なりし內務部長官宇佐美勝夫氏は廿八日午後九時南大門驛著列車にて歸京せりその車中談に曰く　滯京一箇月半中央と種々政務の打合せはやつて來たが、コレと云つてお話しする事もない、內地人郡守かね、發表が遲れるので

▲種々の揣摩

をするものもあるらしいが、事實は任用者の銓衡もすみ來月中にその任命を發表する事となるであらう、その數ははまだハツキリ云へん譯だが、先づ十五名の豫定それも多分一時に出す筈だ、朝鮮も雨が多い故か川水も充分らしく沿線植附の好良に進捗せるを見て愉快である內地も大體に於て

▲天候は順調

のやうだ、二十六日午後東京を發し同夜東海道線の列車中にて月を觀る乃ち一句あり『梅雨晴れに月光照らす田の面かな』朝鮮も農事改良など釜しいが昔代の如き京釜沿線殆んど全く短冊形になつてゐて東北地方に比すると進んでゐる莫迦にしたものでないやうだ

◎鮮銀信託業務

取扱規程脫稿

朝鮮銀行にては法律改正により信託業務を營み得る事となりし結果吉田營業局長指揮の下に營業局內に信託業務取扱規程立案中なりし所一兩日中に脫稿するを以て直ちに相當の手續きをとり一方東京大阪方面に行員を派し信託業務に關する調査をなさしめ準備終了次第可及的速にその開始をなすに至るべきが鮮滿の貿易並に會社事業の現況より見て當分社債株式の引受公募の如き信託事務の繁多は望み難かるべく茲始くはその取扱ひ店も本店大連奉天等の二三店に留むべく本店にては營業課內に信託係を新設する方針なりと尚ほ信託預金は政府の方針により過般既に開始せし臺灣銀行日本興業銀行にても中止せし位にて朝鮮銀行にても當分開始せざる由なり

◎通信收入概況

大正七年度五月分通信事業收入は四十萬二千四百九十三圓にして豫算に比し七萬七千七百六十一圓（二割四分）を超過し前年度同月分の收入に比すれば六萬八百四十三圓（一割八分）を增收せり又五月迄の收入累計は九十三萬千三百六十七圓にして豫算を超過すること十七萬八千七百三十六圓（二割四分）前年度同期の收入に比し十四萬七千四百五十二圓（一割九分）の增收となれり

◎各地植附終了

鮮內各地の挿秧は去る二十三四日の降雨にて槪ね終了尙ほ若干西鮮京畿道湖南線方面にて水不足を憂へ居たるが二十七日夜來の降雨は二十八日も引續き相當量に達せしを以て各地共遺憾なく挿秧を了したるなるべく本年の如く順調なる天候の推移を見るは稀れなりとの事なり

◎露貨暴落

廿六日より日露貨物連絡輸送に適用すべき日露貨幣換算率は百圓に付六百六十留なりしも二十八日以降は七百十留とする旨東淸鐵道より滿鐵京城管理局に通知ありたりと

◎漂流木材に關する公布

鴨綠江及び豆滿江の漂流木材に關する件は二十九日附を以て公布七月一日より施行さるべし

◎支那造船業擴張說

資金は日英兩國分擔支出乎

北京外人間に傳へらるゝ處に據れば日英兩國間には支那と共に支那に於ける造船業を改良擴張する目的にて借款談進行中なり資金は一億圓にして日英兩國にて是を分擔し英國は最進式の機械其他を供給する筈なるが機械の一部は輸送上の都合にて日本よりも供給し投資額の一部とす可く支那は鐵材、材木等を出し利子拂其他に充つ可し組織は國有鐵道に準じ、管理權は支那政府に屬し日英より技師各一名を出す可し英國側出資者はヴイツカース外若名の造船所也（北京特電）

◎間諜嫌疑者拘禁

交涉

在天津獨墺人中從來間諜の嫌疑ありし者數名に對し支那政府は葡萄牙公使より注意を受け和蘭公使に之等數名の者を國內一定の場所に拘禁するの意見を以て交涉中なり（北京特電）

◎支那關稅改正裁可

支那政府は關稅改正案を裁可したり（北京特電）

京畿府尹郡守會議　京畿道にては來る七月三日より三日間道管內府尹郡守財務主任を召集し事務の打合せを爲すべしと

◎岩崎男一行入京　三菱王國の總帥男爵岩崎小彌太氏は顧問武田海軍機關中將社員三宅川百太郎氏外一名を隨へ二十八日午後九時南大門驛著列車にて入京朝鮮ホテルに投せしが二十九日滯京三十日午前九時五十分南大門驛發列車にて兼二浦に向ひ同地製鐵所を視察せし上平壤に赴き四五日頃再び入京水原方面視察の上歸東の豫定なり

◎軍司令官動靜　鴨綠江沿岸狀況視察のため出張中なる松川軍司令官は二十八日厚昌江に著一泊の後同所發厚昌に向ふ旨昨日通知ありたり

◎宇佐美長官歸任　東上中なりし宇佐美內務部長官は廿八日午後九時南大門驛著列車にて歸任せり

◎市川參謀長歸任　大邱步兵第八十聯隊第二期檢閱のため出張中なりし軍參謀長市川堅太郎少將は廿九日龍山著歸任の筈なり

◎鹽澤大佐歸任　鹽澤京畿道警務部長は開城、楊州兩郡內巡閱中の處廿七日午後一時歸任せり

◎松平理事滿洲行　數日前入京せし東拓理事松平直平子は芦澤技師を隨へ二十七日午後九時四十分發列車にて北滿洲視察に赴きたり奉天大連旅順鄭家屯長春哈爾賓を視察せし上七月中旬再入京の上歸東すべしと

◎東拓出張所長視察　東拓京城支店の各出張所長會議は二十七日を以て終了せしに付二十八日は朝鮮皮革會社東亞煙草會社

京中央試驗所を視察せり同夜より二十九日に亙り夫々歸任すべし

◎木村理事來京見合　木村東京駐在鮮銀理事は殖產銀行設立委員として入京の筈なりしも行務の關係上その離任を許さずとの事にて多分來鮮せざるべし

◎臺灣學事視察團　臺南女子公立學校長吉澤邦喜氏を團長とする學事視察團十五名は二十七日午後五時大田著二十八日同地公立尋常高等小學校大田公立普通學校大田中學校等を視察し同日午後水原へ向け出發せり（大田）

人事消息

▲原敬三郎氏（東洋拓殖會社理事）　廿八日夜入京天眞樓へ
▲梅野實氏（兼二浦三菱製鐵社長）　同上
▲山本義隆氏（淸津貿易商）　同上京城旅館へ
▲佐藤潤象氏（朝鮮輕鐵重役）　廿八日夜出京
▲井上直太郎氏（東京高田商會員）　同上
▲中山與一氏（佐賀土地會社重役）　廿九日朝退京

百聞百種

米國の禁酒黨は此大戰中を機會に全米國を禁酒國たらしめんと躍起になつて運動して居る▲飲酒は有らゆる罪惡有らゆる病毒の原因で殊に精神病の最大原因だと論じ立てゝ居る▲處が『北米評論』誌上で一寄書家は統計を發表して禁酒論者に一本參らして居る▲卽ち禁酒は飲酒を惡魔の如く云ふも結果の事實は反對である▲精神病者の如きは飲酒者より禁酒者に多く▲千九百十年中に合衆國の各病院に收容された精神病者は六萬七百五十九人で其の中酒癖性精神病者は六千百二十二人で僅か一割七分にしか當らない▲更に過去廿年間に於ける飲酒州と禁酒州との調査統計に據ると禁酒州では八割三分乃至九割四分の精神病者を增加して居るに拘らず▲加州及びロードアイランドの如き飲酒州では僅に二分七厘乃至一割六分六厘の增加に過ぬと云ふ▲之で見ると上戶黨萬歲と云ひたくなる▲過般函館の補缺選擧は双方共候補者の名前が充分に知れ渡つて居なかつたので大分滑稽があつたらしい▲其の一を御披露に及ぶと政友側の佐々木平次郎と云ふが『クロズミトウヘウタノム』と云ふ電報を有權者に打つた處が▲其有權者が炭燒業で函館の炭屋の佐々木と云ふ番頭を知つてる處から▲之れは適切炭の註文だと思ひ込んだ▲が何時も白炭を註文するのに今度丈け黑炭の註文は電文の誤ではないかと問合せた▲初めてクロズミが政友會補候者と知ると『何んだ馬鹿々々しい』は落語の樣な實際談

大邱　▲井上博士講演會
井上圓了博士は二十五日午後四時
[illegible]
九時より慶北教育會主催の下に前
記の場所に於て大邱高等普通學校
[illegible]
町在郷軍人分會集會所に於て奉
會を開きたるが中野府尹、高
[illegible]
廳樓上に於て開會したるが其結
果來る二十九日頃公立尋常高等小
學校に於て父兄會を開會すること
の後依頼の揮毫をなし夜は八時よ
り同寺にて大田教育會及び東本願
寺主催の講演會に於て講演をなし
忠淸南道警務部長神田長平氏は二
十五日公州出發儒城に來り同所
憲兵派出所を檢閱二十六日大田著
と▲火藥庫工事　大田部隊の火藥
庫建築工事は先般淸水組の請負に
て愈々着手されたるが工費は一萬
▲前後して着手せらるゝ噂ありし
練兵場地も淸水組の請負に決
定するも[illegible]
萬五千圓にして百三十四萬二千圓
の輸出超過を示し一月以降の累計
は輸出一億四千六百四十二萬七千
[illegible]

◎致富興產の案內

▼年配當五割乃至十割

化學工業や或る種の事業で一寸した小規模の工場から年二十割三十割と云ふ莫大な利益を擧げて居るのは珍らしくないが、多大な經費を要する大會社でも驚く計り好い配當をして居る、例へば大日本紡績の十割、鐘淵紡績の七割、大坂商船の六割、浦賀船渠の五割配當豫想や富士瓦斯紡績の五割、日本郵船の五割、入山採炭の五割配當などゝまだまだ或る船渠會社の如きは三十割配當をしたのさへある併し今こんな株式を買はうとしても買手が無いとか又は五拾圓拂込の株が二百圓三百圓と出さなければ買ひ得ない、結局利廻りは一割前後と云ふ事になる、然らば今確實に年五割とか七割とか利廻りのものを受け得られて將來會社の增資と共に年十割にもなるやうな前途有望安全確實の株式は無いだらうか、資金利殖に志す人は早急ハガキで東京市本郷區動坂町一三八致富興產研究會宛『有望株式を知らせ』と申込むべし確に年五割以上の配當を得らるべき絕好投資株の詳細記載書を無料送呈す

朝鮮法制研究會
縮刷　朝鮮法規提要
▲ポケット形一千餘頁　▲總クロース函入美本　▲定價二圓二十錢 送料十八錢　▲特價一圓八十錢

（內容）
憲法、法例　官規　賞恤、恩給　文書、附印鑑　地方行政　社寺、宗教　兵事　教育　衞生、警察　財務　土地、林野、河川　法務　產業　交通、電氣

◀本書は緊要なる朝鮮に於ける現行法令を網羅せり▶

賣捌所　京城太平通　京城日報社代理部　電話長六〇九番 構內十八番　振替京城三〇〇〇番

瓦斯管　合資會社　南方商店　京城南大門通二丁目

內科 外科一般　小兒科 婦人病　皮膚科 花柳病
京城黃金町二丁目（長橋通角）
朝鮮診療病院（入院隨意）（電話二八三七番）

…婦人分會集會所に入り午後五時より愛國婦人會員並びに各寺院僧侶の爲め一席の講演を爲したる後…三時よりは一般に對し左の題下に講演せり『世界人文の大勢』『安心立命觀』▲地久節奉祝 愛國婦人…附式後會員の手料理にて午餐を與となりたり…し午後は餘興等ありたり▲中學設立期成會 二十四日午後三時より大邱中學校設立期成會幹部會を府…

■大田■ ▲井上博士講演 井上圓了博士は二十四日午後江景より大田著、東本願寺に到り少憩…二十五日午前大田中學校生徒小學校上級生の爲め二席の講演をなし午後零時三十三分發列車にて大邱に向へり▲神田警務部長巡視 同日より所里憲兵派出所、大田憲兵分隊、大田警察署等の事務を巡閲し引續き新灘津、鳥致院、大平里天安其他各地の巡閲を爲すべし▲射的場築造工事 大田大隊射的場の築造工事は工費一萬三千圓にて白川組の請負に決定既に工事に着手したるが同工事…一千圓餘なりと

●中旬對支貿易 六月中旬に於ける對支貿易は輸出六百三十八萬七千圓輸入五百十四…圓輸入七千二百三十七萬八千圓…て七千四百四萬九千圓の輸出超過となるが其內容左の如し（單位千圓）

	六月中旬 本年	六月中旬 前年	一月以降 本年	一月以降 前年
滿洲	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
北支	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
中支	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
南支	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
計	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

セミヨノフ軍觀戰記（一）

『アツ!!敵の傳騎だ!!』―西伯利亞の夜―
統領セミヨノフの物語―敵の飛行機襲來

マツエフスカヤ セ軍司令部にて 金谷特派員

雨の滿洲里驛を出て低い燃草山に餡をかけたやうな國境の山々を見てゐると『アツ!!確に敵の斥候だ!!』と

■コザックの一士官が驚いたやうに叫んだ、と見れば雨に燃ゆる行手の山に馬を驀地に走らせる騎兵がある、車窓には横なぐりに吹きつける西伯利亞の雨、戎衣の袖を濕ほして寒く、汽車は間もなくマツエフスカヤの驛についた、セミヨノフ軍の司令部は巨きな

◇列車中にある 自分は露營の覺悟して來た甲斐もなく二等車の一室を宛がはれることとなつた、燃草の萌ねた平原にはコザックの斥候や蒙古の騎兵が轡を並べて往き過ぎる、遙かの高地に點々黒い人影を見るは支那の義勇兵の一隊であつた、西伯利亞の夜は午後十時になつてもまだ薄ら明りである、導かれるまゝに食堂車に行くと

■御大將の統領 セミヨノフ大尉を首め參謀長ナツワロフ騎兵大佐、ウイリーグ中佐、リハチヨーフ中佐、ニーコノフ少將などが卓に居並んでゐる、わがセミヨノフ大尉は太い黃色の線のあるコザック服にズボンに黒色の上衣、肩には、銀モールの一等

◇大尉の肩章が あつた、これが渺たる一大尉の身を以て國境反過激派孤軍四千人の統率者たる人か堅く振つた毛むくむくやらな掌は温かく大きくそして力強くあつた、記者は統領に向つて言つた『自分は

■日本の新聞 として最も早く貴下を日本國民に紹介した光榮を有つてゐる、貴下の勇敢にして、東洋人的な性格には日本人總てが同情し共鳴するところである……』と言つた、すると統領は温かい眼光をそゝぎつゝ『君の言葉は敢て當らぬと思ふ、併しわれ〳〵は豫て聞き及ぶ日本人の勇氣と義侠心に憧憬するもの、一人である願くば

◇京城日報を通じて日本の人々に自分等の熱誠を傳へて貰ひたい……』と紅いヂションの杯を擧げた、記者はまた統領の祖國に對する意見を訊いた、答へに曰く『現下の露西亞には大なる二つの流れがある、その一つ露西亞を聯邦とするとも共和國若くは

■帝政にしようといふ意見である、併し自分としてはその何れでも差支ない、唯だ露國人全體の眞乎たる民意を代表したものなればそれで可なりである……』と答へた、折から隣室からは若き士官のピアノの彈奏があつて雨に煙る窓外には驪待の軍樂隊が賑かであつた、次いでナツワロフ參謀長はビール瓶の上の臘燭の灯影に名譽ある

◇ゲオルギー勳章 を輝かせつゝ言ふ『親愛なる京城日報記者よ、今われ〳〵は過激派と而して優勢なる獨墺の俘虜と戰ひつゝある、獨逸はさすがに軍隊としては強いが日本は更に國民として強い、私は先日滿洲里で日本曲馬の小娘が可愛い

■日本國旗を 翳しつゝ踊るのを見た、嗚呼わが敬愛する日本人は曲馬の一少女に至るまで此の意氣がある、省みてわれ〳〵露國人の現狀に想ひ至ればその國旗の影の薄きに泣かざるを得ない、どうか、われわれの心情を日本國民に傳へて貰ひたい……』と語り終つて憮然たる樣子であつた、記者はセミヨノフ軍の戰勝の爲めに杯を擧げた、統領は窓外の空を見上げつゝ『支那兵の歩哨は

◇雨外套がなく て困るだらう』と獨語した『明日は天氣だ!』と參謀長は西に傾く月影を望んだ、記者はそれから勇敢なマツエフスキー大佐の物語りを聞いた、大佐の名が此處の地名と同じなのは曾て大佐の父が此處を開拓した記念であるといふことも面白く聞かれた、『明日も亦

◇敵の飛行機 が來るぞ』と云ふ聲がする、マツエフスカヤの夜は雨に更けた、自分の雨外套は寒くて寢つかれなかつた、何うしても寒いからたう〳〵黎明まで附近の原を歩き廻つた、西伯利亞の夜は早くも午前三時に明ける、今日はいよ〳〵戰線に出るぞと勇み立ちながら靴に踏んだ櫻草のやうな可愛い花を摘み採つた、西伯利亞は今が花盛りである（六月十九日記）

◇最近のセミヨノフ大尉とコザック及び蒙古騎兵の進擊（マツエフスカヤの戰線にて特派員撮影）

◆皇族方撮影注意

行幸啓又は御成の場合停車場內に於ける撮影に關し總督府より京管局に宛て左の通牒ありたり

一、兩陛下皇太子殿下行幸啓の節停車場構內に於ては一切撮影なさゞること

二、皇族殿下御成の節停車場構內にては撮影をなすは差支なきも殿下御徒歩又は御停車中突然接近又は追隨し來りて撮影するが如き不作法なる擧動をなさしめざること但し活動寫眞には如何なる場合と雖も撮影相成らざること

◇大戸平の自彊術講話

目下京城において興行中の東京大相撲力士大戸平は二十八日午後二時から龍山中學校で二百名の生徒に對し自彊術普及の爲め一場の講話を試みた紋付袴に威儀を正した大戸平は五尺八寸二十五貫と云ふ巨軀を壇上に運んで『自彊術は中井江東先生の獨創に依るもので一種の體育法であるが總ての疾病を治癒することが出來る』とて幾多の實例を擧げ學生相撲で評判の綾川は不治の病と目されてゐる腎臟結石で苦しんでゐたが自彊術のお蔭で再び元の健全な身體となり自分（大戸平）もこの方法によつて體力を增進したと述べ最後に羽織袴をかなぐり捨てゝ隆々たる筋骨を睹け出して三十一種に亙る自彊術の型を實演して十二三名の選手生を引張り出し一々親切にその方法を傳授したが誰にも容易に出來る頗る簡單なもの然かも全身の筋肉は勿論のこと內臟諸機關の運動を助けると云ふ合理的の體育法で初めの中は遣れるだけ遣れば好いと云ふのだから一層好都合である實演を終つたのは四時前であるがこの自彊術は漸く世の識者の認むる所となり最近東宮殿下の台覽に供し奉つた位だと云ふ（寫眞は實演中の大戸平）

食料の大蟇 牡牛蛙（ブルフロッグ）
＝が米國から來た 大學で食料研究

大戰勃發以來歐米諸國は食料品の缺乏に苦しみ學者は取殘されたる食物を探求せんとて雜草介魚の研究に日も足らざる有樣なるが我國に於ても山川帝大總長は大學に於て此方面の研究に著手せんとし先づ

◇歐米にて賞玩せらるゝ食料蛙の移殖を企つる目的にて豫てより米國ミシシッピーの河口ニユー・オリーンスに產する最上等の食料蛙を生きたるまゝ取寄せ理科大學動物學教授渡瀨博士に其研究を依賴し構內の池に放ち阿部山田兩氏を助手として研究に著手せるが渡瀨氏は語る

▼味は雛に似て輕い ◇大さは一尺 ◇價は一圓位

蛙はみんな食料になる

此蛙は鳴聲か牛に似てゐる所から俗名を牡牛蛙（學名ラナカテズビアナ）と云つて北亞米利加の殆ど全部に住んでゐる野生の蛙で蝌斗の時代が二箇年間だから研究の年限は却々かゝる成蟲の蛙になれば貝、海老、魚は勿論鼠、雀、小蛇と手當り次第に食ふが蝌斗の時代は昆蟲で育てなければならないし外敵にも弱いから

◇此時代が研究の中心である大きさは頭から尻迄が七寸位で全長は一尺以上ある一見蟇蛙の蟇に似てゐるが水中生活であるから足が非常に發達してゐる從つて股の肉が豐かである上流階級では此部分をシチユー、フライ等にして食つてゐる味は雛に似て輕い英獨佛皆是を移殖養成して用ゐてゐるが價格は普通一圓位である運搬は冬眠期が好いので今度も春函に入れ氷で冷しながら

◇冬眠を續けさせて

◇持つて來たので十六匹だけ生きて新著した標本として酒精漬は古くから來てゐるが生きたのは今回が始めてゞある原產地の米國でも多く棲んでゐるのはオハイオ、ミシガン等の中央亞米利加で紐育ボストン等人口の多い土地の附近は取盡くされたやうである日本は此蛙の食物が多く不用な水溜が多いから之を增殖する方法さへ研究し得れば非常に有望であると思ふ一體蛙はどれも皆食料に供し得るので習慣上食はない迄であるが食へば却々美味なものである

六月の大祓
＝三十日京城神社にて＝

來る六月三十日は六月の大祓とて十二月の大祓と相並び一年を二期に分ち其期間內に於て人々の過犯せる身心の罪穢れを祓除し去り更に自から將來を神に佑りて

■清新 にするの式にて左右の一祓颯爽の趣意云ふべからざるの玄理を含む故に國家は重大の典儀として古來官民共に參進せしめ受祓せしものゝ由なるが倭城臺なる京城神社に於ては總督府令の定むる恒例に依り同日午後八時（晦）を以て地方官（京城府尹）の

■參向 あり直ちに嚴肅なる大祓式を執行すと人民の參集者は受祓に遲れざる樣定刻前に到著すべしとなり

●德川公令嗣夫人 北京駐在公使館二等書記官德川家正氏夫人正子は二十八日午前八時東京驛發朝鮮經由北京に向へり（東京電話）

＝下駄と靴＝
梅雨時の注意

梅雨に入りましてから何でも黴が生ゐて困りますので餘程注意を怠らぬやうに手まめにしなくてはなりません下駄足駄の如きものは十分泥を落し洗つて仕舞つて置きましても何時の間にか

◇黴 が生ゐてきますから時々下駄箱から出して日に乾かさなくてはなりませんが足駄なれば先づ乾かしてから爪掛けや鼻緒を綺麗に拭ひ黴を取つて更に十分乾かして仕舞ふのが宜しう御座います下駄なれば黴を拭き取つてから

◇乾 かして仕舞つた方が宜しう御座いませう雑巾や拭巾は十分乾いたものでなくては拭き取つても甲斐がありません雪駄なども梅雨の中に天氣のよい日を選んで少くとも二三回乾かして置かぬと絲が腐つて直に穿けなくなつて了ひます靴は一層黴の生ゐるものですが元々油や蠟が著いてゐますから止むを得ませんけれども

◇水 拭につからぬものなれば短時間天日に出して乾かした後仕舞た方が宜しう御座いますが併し水につかつたり土を洗ひ落したものなれば蔭日に十分乾かしてからお仕舞になつた方が宜しう御座います水氣のあるものを急に天日で乾かすと皮が硬くなります靴屋さんなどでは陳列棚の中にある新しい物でも梅雨の中は黴が生ますから

◇梅 雨の上りに一旦天日で乾し黴を拭き取つて夫れから仕上をかけ直すさうです

◉ウエルチ博士說敎 メソヂスト教會監督法學博士ハルバート、ウエルチ氏は來る三十日午前十時京城府內旭町二丁目日本メソヂスト教會に於て中村牧師の通譯にて內地人の爲に說教せらるゝ由同氏は米國宗教界にて重きをなせる說教者なりと

お待ち兼ねの 第二回紙上寶探
＝愈三十日の紙上より＝

◆京日愛讀者慰安の爲め本社は既に第一回紙上寶探を發表して多大の盛況裡に去る廿日締切をしました、そこで本社は卅日の夕刊より五日間に亙り最も興味ある

◆第二回紙上寶探を大仕掛けで發表致します、それは卅日の夕刊から出るボンチ繪の中に寶を隱す場所が何處かに隱してありますから五日間の新聞に出たボンチ繪から探し出して何處と葉書でお知らせ下されば宜しいのです

■發表日●六月卅日の夕刊より五日間
■締切日●七月廿日
■當籤發表 八月三日の本紙上發表と同時に賞品發送

賞品

一等	反物	十本
二等	應接室置時計	十五本
三等	夏シャツ地	二十本
四等	浴衣地	三十本
五等	本紙一箇月無料購讀券	五十本

京城太平通一丁目 京城日報社

法人登記

長湍地方金融組合登記事項中變更 一、理事稅所龍介ハ大正七年六月武拾六日移轉ニヨリ其任ヲ解ク 右大正七年六月武拾六日登記

京城地方法院長湍出張所

公告

一、千草三萬貫 右來ル七月三日入札ニ付希望者ハ府門前ノ掲示ヲ見ヨ

京城府

朝鮮總督府

鐵道局拂下品販賣

夏絹セル洋服多數
夏絹小倉洋服多數
冬物絨服同外套
冬小倉服毛皮胴着
チヨキ各種多數
軍隊拂下品一式
和洋中衣服類一式
新調洋服類

振替口座京城三八三 金子商店

イヤナ 蠅取藥

島田藥房

かぜねつ

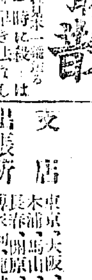
彼是と手遲せぬ樣直ぐ服用を

小兒カギヤピリン

本舖 名古屋京町 荒川長太郎

りん病 ばい毒

京城黃金町 ドラツグ商會



支配人

新荷着

銘仙ゆかた地

白地及び薄色地で、かすり、縞、格子類

輕くって涼しいその着心地を味ひ給へ

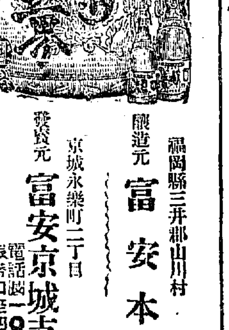
京城太平通一丁目 京城日報代理部

外科花柳病 內科小兒科 婦人科

京城南山町二丁目電話三〇六八番

宮崎醫院

優等清酒



醸造元 福岡縣三井郡山川村 富安本店

發賣元 京城永樂町二丁目 富安京城支店

朝鮮銀行

京城

本支店 東京、大阪、神戸、平壤、仁川、元山、大邱、釜山、鎭南浦、群山、木浦、馬山、羅南、會寧、新義州、安東縣、奉天、大連、青島、長春、開原、四平街、旅順、遼陽、鐵嶺、吉林、哈爾賓、營口、傅家甸、龍井村、鄭家屯、上海

右ノ外內外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ取扱申候

のみとり粉 かとり線香

日本紀州大阪 上山静藏鑒製

痔疾專門

入院随意

京城明治町二丁目

久枝肛門病院

妻の心 二十二

小林蹴月作　武内桂舟畫

（五）の二

『お前、何もそんなに心配する事はありやせんよ。乃公が四日や五日歸らんからと云つて、別段逃走する筈もなければ、淵川へ身を投ずる氣遣ひはありやせんし、獨りで遊んで獨りで歸る位が關の山なんだからね。』

久三郎は、時々裡に自身の疏略をかねて、禮子の精神を慰めるで前なのである。

『それはもう然うどころでは御座いませんけれども……。』と、禮子は、苦しさうに細い息を抑へて、

『阿母さまは御承知の通りの氣質で御座いますし、妾が又、以前と違つて、過度風な神經質になつて居りますもんですから旦那様のお心では、左して氣に止める程どの事でないと、輕く〳〵視てお在遊ばす事でも、頻りとそれが懊惱の種となりがちで御座いますので……關山先生の被仰りますにも『貴女の身体は、物事に心配さへせねば、醫藥も轉地療養も其個必要がない』と、斯様に被仰つて下さる位で御座いますから……。』

『して見ると、何かね、お前の病氣は、身體の内面に異狀があるのではなく、只外界から來る事實の心配が原因であると、斯う云ふんだね。』

『……お醫師様の被仰います所では、あの……。』

禮子は、斯う云つて、良人が第二に切り出して來る話を、如何あらんかと氣遣はるゝやうに瞼を伏せて居る。

『ふゝむ、然うかね。』と、久三郎は、分りきつた事に、分らぬやうな返事を與へて、暫時酒臭い息を煙へ吹き付けたが、

『禮子、お前の第一心配となつて居る事實と云ふのは、元來何事であるか、乃公にまで云つて御覧。』

『はい……その事實なんで御座いますか。』と、禮子は半分まで云ひかけたが、遙かに又、良人から腹を探らるゝやうな氣がして、半分以下を噛み下げて了つた。

『云つて御覧、禮子、その事實が明瞭に判つて、それが爲めに、萬一お前の神經的病魔を全然驅逐する事が出來ると爲たらば、お前一人の幸福のみならず、町川家全般の最大幸福と云ふもんぢやないか。話の出たのが恰度幸だ、包まず乃公にまで云つて御覧。』

良人から詰め寄するやうに云はるゝ程、禮子は、俯つゝましさうに膝に手を置いたなりで考へ込む。

『云へん事はないだらう、それを云はんと爲れば、お前夫婦間の親みも愛もないと云ふもんぢやないか。』

『それを云はないと爲れば、取も直さずお前の精神には、平素から夫婦の愛も親みも缺けて居ると云ふ事になるんだが……禮子、豈夫にお前は、そんな冷淡な女ぢやあるまいね、何ぼ乃公が猶養子の身分だからと云ふて……。』

久三郎の方が、脊負つて立つて云つて居るやうなものであるが、久三郎は、固より禮子の特質を承知して居るので、何事も手強い事など云ひ出し得まいと信じて居るからの事である。一口に云へば、自分の非を掩はんが爲めのお爲ごかしなのである。

『……旦那様、少時お待ちになつて下さい。他の事は兎も角『何ぼ乃公が猶養子の身分だから云々』と被仰つたお語丈は、そりや貴郎直面目から妾に被仰つたお語なんで御座いますか？』

病軀を無理に坐り直つて、斯う反問的に云つた禮子の眼には、爭ひ藥の露の光どころではなく、熱い〳〵涙が流れた。電燈に照らされた彼女の面は、蒼白の上に蒼白を加へて、物凄いばかりに變つた。

男ほど重寶な口を有つた、男ほど得手勝手な事を、平氣で並べ立てるものはないと、怎麼に温和な禮子でも、腹でそれ付の事を氣付かずに居る筈はないのであるが、是までに云はれてもまだ、思ひ切つて何事をも云ひ出し得ない所が、禮子の禮子たる特質であり、世の常の婦人と同一視すべからざる最上美點なのである。

日朝俳壇

新幕酒幕吟社詠草

ポプラ茂り

租借地の街路に茂るポプラ哉　春草
ハンモック吊るポプラの茂り哉　同
塗炭屋根を壓すポプラの茂り哉　香仙

芦切

胡船据ゑ洲に落日や行々子　春草
梢拍子に芦切飛ぶや霜の中　同
古邑迴に見て渡頭や行々子　同
芦切の頻り飛ぶ江のジャンク哉　香仙
大江に燃ゆる夕日や行々子　同
昔のみが響く水車や行々子　同
船よぎる芦のさぎや行々子　同
石舟に影打つ芦や行々子　逸明
芦切の一頻り啼く夕日哉　同

若葉

火見櫓に人が動ける若葉哉　香仙
句會果て歸る若葉の月夜哉　春草

麻

麻の中に母屋の赤き影灯哉　春草
白壁に映ゆる疎影や麻の月　同
雛鶏を放てる背戸や麻の風　同
麻畑の中に廢寺の砕石哉　不可人
麻畑に降りて光る水車哉　同
麻畑に隣れるヨボの酒屋哉　竹里
山に落つる陽が輝くや麻畑　香仙
風が擴ごる麻畑の家は灯したり　芳宙
稲の畑の流るゝ麻が刈られゆく　同
麻を流く夕風に釣具仕舞ひたり　同

富の道しるべ

山縣五十雄　村上唯吉共著　價十五錢　郵税二錢　京城大平通　日韓書房　[illegible]

讀者の領分

▲軍司令部へ御願ひ（明治三十九年徴兵檢査後備兵役の勤務）[illegible]十九年徴收後備兵[illegible]演習年次は本年相當年なるや偕勤務演習及び簡閲點呼[illegible]にして餘人を以て代へ得ざる公職を有する學校組合管理者は文官又は市町村長收入役[illegible]と同樣召集なきや無しさせば其手續は不必要なるや又は如何なる方法に爲すべきや御教示を乞ふ（不案内者）▲臨葬に迷つてゐる人の爲めに巡査採用に付いての記事を見非出して戴きたいと思ひます（加藤牧生）▲先日の本紙に出しました通り巡査採用臨時試驗があります（係）▲どなたか卜翁の（生ける屍）の唄の節を御存じの方があればお教へ下さい又は他の唄の節に同じならばその唄の名をお教へ下さい（北エスエス）▲醜男が美人を娶さして其間に水も漏らさぬ愛情の滿てるは、いかにも良人の器量を上げて良人いよい よ立派に男らしくいかにも妻の貞操を表はして其妻いよ〳〵女らしく[illegible]が病人の如き手さへ結び合せて夕暮の散歩[illegible]に等しい（井邑榆光の閑介苑生）▲いつも夜の[illegible]いて市中を歩いている[illegible]ある井邑の道元から價段に[illegible]言つてさも質朴さうに見せるがあればある[illegible]屋から八千物を仕入れて[illegible]の改造しさも尤價に見せ掛けて[illegible]貫つけなさい（注意生）▲本町の或る[illegible]町の變姿に[illegible]業に關しますよ（ヤレヤカシ生）▲相撲でも新劇でも彌次るには其れ〳〵彌次る程度があつて其の程度な通り越すと一般他の觀衆の妨害となり不快の感を抱かしむるものである。私は京城大相撲の初日を見物に行つたが本町の某菓子屋の主人一隊の相撲通を振り廻して隨分下劣な彌次り方をして居つた最後に相撲がなかつたとて剩聯なる上彼の鮮中に胡坐を組み一般觀客の迷惑を顧みず醉聲を振り立て、風を出せさか此の首にかけても此處去らぬとか云つて自分の首をたゝ子でパタ〳〵叩いてゐた、自分では一廉の通らしく思つてゐたらうが眞の彌次り方は他人の迷惑にならず急所〳〵で愛嬌的に彌次るのが眞の彌次り方である當日は總督府官吏諸君も行會社に挨拶廻りで多忙の爲め初日丈け稽古相撲が無かつたのである、何事でも非可通程度し難いものはない（痛棒生）

碁戰（九）

（大正七年六月九日於圍非大會）

四段 齋藤賢德氏　二子 白南圭氏

○一六一 チの十四　●一六二 への五　○一六三 劫トル　●一六四 ヨの十五　○一六五 への四　●一六六 劫トル　○一六七 トの十六　●一六八 への五　○一六九 劫トル　●一七〇 チの七　○一七一 ホの五　●一七二 劫トル　○一七三 カの十六　●一七四 レの十六　○一七五 ヨの十六　●一七六 ヲの十六　○一七七 ヌの十四　●一七八 チの十三　○一七九 レの十三　●一八〇 レの十五　ソの十五　ツの十六

子宮病血の道とリウマチスに惱む人は

彼是迷ふ無く

最も能効く良藥神痲湯を試よ現に百方手を盡も効なき難症の血の道や、多年不治のヒステリー・や、數年難治の子宮病を始め固疾の神經痛の方々がリウマチス神經痛の神痲湯の逆服で漸次快方に赴き遂にはスツカリ快癒し嬉さの餘り懇篤な謝狀（現在保存一般の閲覧に供す）を送らるゝ實例も尠からず若不幸にも是等の病に惱む人あらば輕症重症の論なく即刻試みよ神痲湯は家方の良藥にして今や全國各藥店にあり

こんな徴候

●胸、腹、手、足、肩、脊、腰、膝、等●つり、痺れ、又は筋張り痛み●彼處此處と移動し●何となく胸つかへ●腹張り●差込み●食進まず●便秘又は下痢●逆上●耳鳴●眼まひ●歯痛●頭重く●頭痛●寒惡●肩凝り●脇腹に力なく腰足冷ね●夜眠られず●根氣薄らぎ記憶あし●く物事に感じ易く●氣鬱●顏色惡しく●頭痛手足の浮腫等●子宮病血の道ヒステリー及ウマチス神經痛等の諸症より起る徴候は片時も早く此惱に神痲湯を試みよ

價 藥 [illegible]

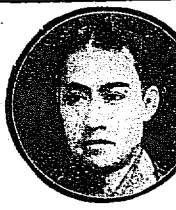
本舗 名古屋市東區京町二丁目 藥種問屋 荒川長太郎 電話 本局一一四七番 振替口座 東京一三二九 大阪二一五三番

内からも外からも

ミツワ文庫七六

内外からほどこす美身法　目先だけの化粧では駄目

松本幸四郎談



一口に化粧と申しますと、紅や白粉で、身體を美しく裝ふことだけのやうに、ちよつと考へられますが、たゞそれだけでは鍍金をしたのと同じで、はげやすくて、却つて見にくいやうなことになります。そのやうなことなしに、眞に美しい水際立つたお化粧を施さうとしますには、たゞ目先ばかりでなく、もつと源に溯つて、から整へてかゝらなければ嘘で、罰は化粧の基礎となる地肌から整へて、一以上の化粧を施すことが肝腎でございます私共も稼業柄これに就ては一とほりならぬ苦心をいたして、それ〴〵專門家の御說なども、參考にいたして居りますが、肌膚を美しくする理想の方法としましては、内と外から手入を施すことに心がけなくてはなりません、内からの手入としましては、第一心を安らかに持ちますと共に、睡眠時間を十分にしますこと、次に食事を適度にすること、それから程よい運動を試みること時々日光にも浴して、清い空氣を吸ふこと、かうして血液の循環をよくして、身體全體の健康をはかり皮膚の血色をよくすることです。外から施す方法としましては毎朝の洗顏、毎日の入浴に、日本人の肌膚に適するやうに精製されてありますミツワ石鹼を使つて、肌膚の營養を助け、機能を健かにすることであります。入浴に就て申しますならば、適當の時間だけ湯に浸つて、寛かにほとびた肌膚へ、𣁽で溶きましたミツワ石鹼の、芳い薫のする滑かな泡沫を塗りまして、柔かに撫でますと、その石鹼獨特の微妙な作用によつて皮膚の表面に浮いて居る汚垢は勿論、毛孔の中に潜んで居る汚垢までが吸はれるやうに泡沫に混つてしまして稍頃合を見て搾つた手拭で上から抑へるやうにして拭いて徐くのでございます。これで肌膚は申分無く見事に整へ上げられますから、鍍金のやうな目先だけのお化粧とは違つて、眞から美しい活々としたお化粧が何時でも思ひの儘に施せるやうになります

▲坂東秀調曰く　[illegible]の方でもございますから、よく吟味しなくてはなりません先づ一番安心して使はれる油と申しましては、昔から[illegible]の髪にも取り寄せ、嚴重な[illegible]方法で搾り取られたミツワ椿油に越したものはございませんそれ故、頭髮な大事になさいます方は[illegible]で捺したやうに、皆このミツワ椿油を御用になされて居ります

發賣品目錄　進呈　東京橘町　丸見屋商店

[illegible]……お湯から上りましたならば、手拭で身體の濕氣をよく拭き取つて、それから肌膚へ健膚藥を塗りますと、よく肌膚に吸はれて、ふくよかな肌になります。[illegible]

家庭治療法

醫學士 小山田 謙編　四六版 二三〇頁

本書は日常罹り易き疾病の原因症狀等を平易に說き、家庭に於て施し得る治療法を丁寧に敎へ、醫師にかゝるまでの親切な相談相手となるものである。定價金五拾錢。但其半額（郵券代用不苦）を添へ御申込あれば一冊送呈す。東京日本橋區橘町丸見屋商店（振替東京七一〇番）

最新流行 新荷到著

ムキワラ帽子　金五十五錢より金四圓迄
パナマ帽子　金一圓廿錢より金五圓廿錢迄
送料（鮮内十二錢 外三十錢）

▲鳥打帽子 其他最新形澤山取揃へ居り候

◉御注文の際は柄何（縞とか無地など）色合御嗜好及價格頭廻り寸法御申越被下度候はゞ適當の品選び御送付可申上候

京城大平通　京城日報代理部　電話六〇〇九番・振替京城三〇〇番

瀨戸外科皮膚科醫院

京城旭町二丁目（舊三丁目）電話二四九八番　醫學士 瀨戸潔　（診察夜九時迄）

酒井婦人病院

京城永樂町二丁目（商品陳列館裏門通）電話二六〇〇番・一八番　院長 酒井一郎

優等清酒 賀茂鶴

廣島縣西條町　釀造元 木村靜彦
京城府鍾路（中央市場）發賣元 河野酒店 電話二二〇八番

内科 小兒科

呼吸器病 胃腸病 喘息 リユマチス

京城本町二丁目四十五番地 電話二八八〇番　山田病院　院主 山田萬作

眼鏡專門

△弊堂特色　レンズ精撰　技術精巧　品位確實　價格低廉　親切勉强

京城南大門通二丁目二二番地　宮川大學堂　電話二九五九番 振替京城壹壹〇九番　（詳細定價表發行す）（眼鏡製造工場子弟入用）

眼科專門 金井眼科醫院

京城若草町（新築部通り若草町）電一五五六　新築落成◉入院隨意◎日曜祭日午前中

大阪商船汽船出帆

仁川出帆 神戸、大阪行 日清丸 六月 日 後五時出
元山出帆 清津行 宮島丸 七月一日 後十二時
釜山出帆 門司、宇品、神戸、大阪行 安平丸 六月三十日 後九時出
大連出帆 上海、基隆、打狗行 湖北丸 七月十二日 前六時出 基隆丸 七月廿四日 後四時出
◉内地各港出帆主要航路
歐洲行 一年四回　南米行 一年四回　北米行 毎月一回　濠洲行 毎月二回　南洋行 毎月一回　孟買行 毎月二回
御注意 [illegible]
大阪商船株式會社仁川支店 電話五番 [illegible]

尼崎汽船仁川出帆

下關、大阪直行 第一太湖丸 六月 日後四時 大有丸 六月 日後四時 群山、下關、神阪行 君が代丸 六月 日後四時出
仁川海岸通一丁目 電話五十九番 商杉回漕店

朝鮮郵船出帆

○敦賀行 清津發 城津元山經由 七月四日 元山發
○浦汐行 大阪發 元山城津經由 越後丸 七月一日 釜山發 七月二日 元山發
○雄基行 雄基丸 七月九日 釜山發 七月十三日 元山發 七月七日 元山發
○元山雄基線 京濱丸 七月四日 釜山發 七月七日 元山發
○大阪行 鏡城丸 七月五日 元山發 平安丸 七月七日 釜山發
○金剛山遊覽便 穩城丸 七月九日 元山發
○釜山浦項線 江陵丸・慶興丸 每日釜山浦港發
○濟州島行 濟州丸 七月四日 釜山發
○東海岸線 鏡城丸 七月三日 元山發
○釜山群水線 丁濟丸、統營丸、海州丸 毎日釜山麗水發
○木浦麗水線 順天丸 七月四日 木浦發
○多島海行 慶興丸 七月二日 木浦發
○木浦行 慶興丸 七月二日 仁川發
○海州行 錦江丸 時陽丸 毎日 仁川海州發
○鎭南浦行 晉州丸 七月三日 仁川發
○青島行 江原丸 七月二日 仁川發
本社 京城南大門通 電話一九五二 二二三三
釜山支店 釜山港佐藤町　元山出張所 元山港海岸通　仁川代理店 仁川港　木浦代理店 木浦港　京城荷客取扱店 京城南大門驛前 松原運送店
（其他各寄港地ニ荷客取扱店アリ）電話長一七〇番

京城米 下半期 [illegible]

標準船型再査　純貨物船選定

[illegible]汽船會社遞信省の技術家等二十一名を委員として本年三月二十日より六月十四日に至る間數回[illegible]容に關し協議中に屬するも其內容を摘記すれば左の如し（東京）

戰時標準船型（戰時急造の[illegible]）
A 八、〇〇〇噸型 平甲板船
B 六、〇〇〇噸型 重構船
C 二、〇〇〇噸型 重構船
D [illegible] 低船尾樓船

平時標準船型
[illegible]の純貨物船と船型及び六種の定航用貨物船の船型を定めんとす
B A（一）普通標準船型 船型（重構船型）[illegible]
J （二）特別標準船型 一二、〇〇〇噸型 一〇、〇〇〇噸型
L K 低船尾樓船

（一）名稱アジア・バンキング・コーポレーション（二）資金二百萬弗（三）所在本店紐育支店[illegible]（四）加入銀行ニューヨーク・ギアランテー・トラスト・コンパニー・ナショナル・シティー・バンク[illegible]全然關係なき別箇の投資機關なり[illegible]は近來米國市場と對支投資熱の勃興せるに從ひ[illegible]設立せるものなり